

特別支援教育研究論文集

—令和5年度 特別支援教育研究助成事業—

研究協力:独立行政法人国立特別支援教育総合研究所

障害のある児童生徒一人ひとりの発達段階や
障害特性を踏まえた性に関する指導の充実と発展

山口県立萩総合支援学校

教諭 原 菜月

令和6年3月

公益財団法人みずほ教育福祉財団

目 次

要旨	1
第1章 研究の背景と概要	2
第1節 研究の背景	2
1 はじめに	2
2 我が国の動向	2
3 本校における性に関する指導	3
第2節 研究の概要	5
1 研究の主題	5
2 研究の方法	6
第2章 研究報告	7
第1節 文献調査および研究大会への参加	7
1 学習指導要領における性に関する指導	7
2 性に関する指導の推進体制	8
第2節 ココカラプロジェクトの発足と推進	9
1 ココカラプロジェクトについて	9
2 第1～3回ココカラプロジェクト推進委員会	12
3 第4・5回ココカラプロジェクト推進委員会	15
第3節 様式の作成と活用	17
1 様式の一覧	17
2 目的と役割	20
3 活用の事例	21
第4節 研究授業および研究協議	23
1 研究授業	23
2 研究協議	32
第3章 研究のまとめ	34
第1節 成果と課題	34
第2節 おわりに	38
引用文献	39
参考文献	39
謝辞	40
巻末資料	41

要旨

昨今の学校現場において、障害のある子どもたちに対する性に関する指導は喫緊の課題である。本校は、文部科学省主催の「生命（いのち）の安全教育推進事業」への参画を通して、健康・学校安全部が中心となり性に関する指導の充実に尽力してきた。今年度も当事業に携わり、実践担当校として、山口県内の他特別支援学校と協働しながら取組を進めているところである。本研究は「生命（いのち）の安全教育」と連携しつつ、さまざまな障害や特性がある児童生徒一人ひとりへの性に関する指導をさらに充実および発展させていくことを主題としている。

本研究は「文献調査および研究大会への参加」、「ココカラプロジェクトの発足と推進」、「様式の作成と活用」、「研究授業および研究協議」の方法で進めていった。まず、文献資料や専門書籍の精読、各種研究大会への参加により、学習指導要領における性に関する指導の基本的な考えを明らかにした。次に、研究推進委員会「ココカラプロジェクト」を立ち上げることで、組織体制の充実を図った。計5回にわたる委員会では、研究の指針や具体的な取組内容についての共通理解や各学部の情報交換等を行った。また、「ココカラプロジェクト」と「生命（いのち）の安全教育」が密に連携し、合同委員会を開催することで、学識経験者等を交えた熟議を行うことができたことも、大きな成果である。「生命（いのち）の安全教育」を題材に実践した研究授業は校内外に公開し、学校関係者や外部専門家等多くの方々に見ていただくことができた。協議で得たさまざまな視点からの幅広い指導助言については、今後の取組で生かしていきたい。

そして、本研究の要となるのが「性に関する指導 個人重点目標」である。研究の成果として、全学部の児童生徒に対して、それぞれが性に関する指導において特に重点的に取り組みたい目標を設定することができたとともに、目標について保護者からの理解を得ることもできた。さらに、「性に関する指導 個人重点シート」の作成により、目標の設定理由や具体的な手立てを言語化して整理することができ、またシートを活用することで、教員間で支援の方向性を統一することが可能になった。作成した様式はその他にも「性に関する指導 つながる振り返りシート」や「ココカラだより」等があり、児童生徒一人ひとりの学びを充実させることをねらいとした。保護者と連携しながら性に関する指導を進めることができるようになったこと、個々の目標や支援方法、学習内容が目に見える形で整理され、蓄積できるようになったこと、子ども自身や保護者、あるいは教員の変容を見取ることができたことは、本研究の最も大きな成果と言えよう。一方、地域や福祉、医療機関等との連携や、個々の学習内容を進学先や就労先等に確実に引き継ぐ方法については多くの課題も残されている。

本研究を通して、障害のある子どもたち一人ひとりの性に関する指導の充実と発展のためには、子ども自身の実態や悩みはもちろん、子どもを支える保護者の思いにも向き合い、悩み、考えるという教員の姿勢と、子ども自身、教員、保護者の連携体制が何より大切であると考えようになった。今後は、子どもたち一人ひとりのことをより丁寧に見取り、支援について検討し、保護者と協力しながら進めていくとともに、そのつながりの輪を広げ、地域や医療とも連携および協働しながら、性に関する指導の更なる充実と発展について、学校を挙げて取り組んでいきたい。

キーワード：性に関する指導、生命（いのち）の安全教育、ココカラプロジェクト、個人重点目標

第1章 研究の背景と概要

第1節 研究の背景

1 はじめに

近年、社会のグローバル化やライフスタイルの多様化等により、子どもを取り巻く環境が急激に変化してきていることに加え、新型コロナウイルス感染症等、これまでに経験したことのない状況下、学校現場においても、いじめ、不登校問題やメンタルヘルスに関する課題、ネット依存等、さまざまな課題が生じている。そして、これからの時代を生き抜く子どもたちは、このような複雑で多様化した課題を受け止め、乗り越えていく力を培うことが求められている。

さまざまな課題の中でも、特に子どもたちの性の問題に関しては、社会の変容とともにますます多様化、複雑化している。例えば、H I Vを含む性感染症や望まない妊娠についても、依然として大きな問題となっている。また、インターネット社会の発展により、子どもを取り巻く性に関わる環境についても、正誤の定かではない性情報の氾濫や新たなコミュニティとのつながり等、大きく変化している。

「多様化した性の課題があふれる社会の中で、子どもたちがその生涯を豊かに、懸命に生き抜いていくために、学校教育は何ができるのか。」

このような問いを立てたとき、やはり、学校での健康教育、ひいては「性に関する指導」を充実させていくことが大切であると考える。

これからの時代を生きる子どもたちは、性に関する正しい情報を自ら収集し、適切な意思決定や行動選択をする力を培うことが必要であり、学校は、子どもたちがその力を培うことを支援するための役割を果たさなくてはならないと考える。

2 我が国の動向

我が国における性に関する指導の実情について、「生命（いのち）の安全教育」を例に見ていく。

「性犯罪・性暴力対策の強化の方針」を踏まえ、文部科学省は、子どもたちが性犯罪・性暴力の加害者、被害者、傍観者にならないための「生命（いのち）の安全教育」を策定し、令和2年度から4年度までを「集中強化期間」として、各学校での取組を推進してきた。同省は、今後この取組を各学校が継続し、強化していくために令和5年度から7年度までを「更なる集中強化期間」として位置付けている。

また、令和4年12月に改訂された生徒指導提要においても、課題未然防止教育の観点から、すべての児童生徒が性犯罪・性暴力に対して適切な行動をとるための力を身に付けることができるように「生命（いのち）の安全教育」を実施することとされている。

このように、至るところで「生命（いのち）の安全教育」の名前を目にするようになったことから、「生命（いのち）の安全教育」、ひいては性に関する指導の注目度や重要性は、ますます強くなっていることがうかがえる。

3 本校における性に関する指導

本校は、山口県北部の特別支援学校である。在籍するのは、知的障害、病弱、肢体不自由、視覚障害、聴覚障害の5障害のいずれかあるいは複数を合わせ有する子どもたちである。主とする障害として多いものは知的障害であり、9割以上を占める。小学部、中学部、高等部とあり、児童生徒は計90名程度である。また、隣接する市には分教室があり、小学部児童および中学部生徒が数名在籍している。

前述の「生命（いのち）の安全教育」の取組は、山口県内でも始まっている。特に本校は、令和3年度からの2年間、「生命（いのち）の安全教育」の実践校として、性に関する年間指導計画の作成や教材・教具の研究、公開授業や研究協議等、さまざまなことに取り組んできた。また、今年度からは、「生命（いのち）の安全教育」実践主担当校として、県内の他の特別支援学校8校（以下、実践協力校）と連携をして指導案の検討や相互の授業参観、協議等を行うなど、その取組を強化することに努めている。

なお、本校における「生命（いのち）の安全教育」実践の一例については、文部科学省HP内「性犯罪・性暴力対策の強化について」（https://www.mext.go.jp/a_menu/danjo/anzen/index.html）より閲覧することができる。

本校における性に関する指導は、健康・学校安全部保健体育係作成の「性に関する指導 実施要項」に則って進めている。この要項は、本校における性に関する指導の手引き書となるものであり、性に関する指導を計画的かつ系統的に進めていくための「性に関する指導 全体計画」や「性に関する指導 年間指導計画」、「性に関する指導 チェック表」等を示している。

「性に関する指導 全体計画」は資料1および資料2の通りである。資料1には、性に関する指導の目標や学部ごとの指導のねらい、指導を進めるにあたっての留意点等が、資料2には、性に関する指導を実際に進めていくにあたっての手順等が示してある。

資料3は、令和3年度「生命（いのち）の安全教育」の取組の一環として作成した「性に関する指導 年間指導計画」である。この計画は、①全教員で分担して各学部、各教科の学習指導要領および学習指導要領解説を精読して性に関する文言や記述等を抜き出す、②抜き出した文言等を一覧表にまとめ整理する、③一覧表を基に各年度の指導内容や方法、授業時数等の検討を行う、という経緯で完成に至った。本校では今年度より、作成した年間指導計画を活用し、その効果を検証するため、また、さらなる改善を行うために、各学部・各学年でこの年間指導計画に基づいた性に関する指導を進めている。ここでは、一例として中学部1学年のものを紹介しておく。

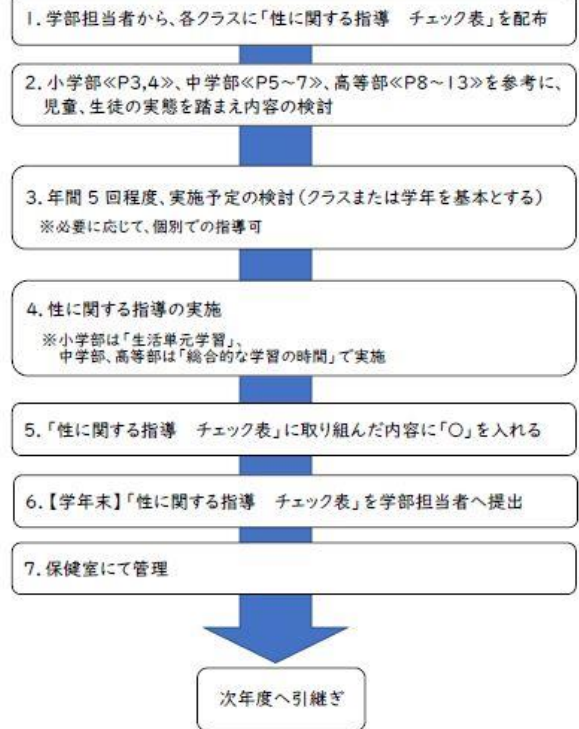
加えて、本校では、性に関する指導を系統立てて進めていくため、また、次の学年、学部の教員に学習した内容を引き継ぐために、「性に関する指導 チェック表」を作成し、校内で活用している。チェック表については、資料4のとおりである。

資料1 性に関する指導 全体計画

性に関する指導 全体計画	
山口県立総合支援学校	
性に関する指導の目的	
(1) 自己の性の認識を強にし、心身ともに健康な生活ができる基本的な生活習慣や態度を身に付ける。	
(2) 豊かな対人関係を築くことができる能力を育てる。	
(3) 家族や社会の一員としての適切な意思決定や行動選択ができる能力を身に付ける。	
学部ごとのねらい	
【小学部】	
(1) 身体の名前を知り、体の成長や発達に関心をもたせる。	
(2) 自分や友達の違いを理解し、性別に応じた公共施設の区別等に気付く。	
(3) 自分を大切に育てるとともに、友達と仲良くする態度を育てる。	
(4) 家庭での役割やルールを知り、役割を果たす態度を育てる。	
【中学部】	
(1) 自分の心身の発達や変化に気付く、自分や他人を大切にしようとする心構えを養う。	
(2) 男女の身体には違いがあることを理解し、互いに相手を理解しようとする態度を育てる。	
(3) 家庭や社会の一員として正しい判断や行動がとれるための力を身に付ける。	
【高等部】	
(1) 心身の発達や変化など人間の成熟について理解を深めるとともに、人間としてより適切な行動を選択しようとする態度を育てる。	
(2) 男女が互いに相手を尊重しようとする心構えや態度を育て、正しい判断と行動ができる能力や態度を育てる。	
(3) 家庭や社会の一員として正しい判断や行動ができる能力や態度を高め、実践力を育てるとともに、健康で安全な生活を営む態度を養う。	
具体的な留意点	
(1) 各学部で、授業としての時間を活用して性に関する指導を行うのか、誰が中心となるのか、共通理解をしておく。	
(2) 指導内容を積み重ね、偏りを防ぐために、性に関する指導チェック表を活用する。授業実施後担当者記入し、次学年、学部への申し送りにも活用する。	
(3) 性に関する指導チェック表は紛失を避けるため、学部ごとに管理責任を定め、一括管理する。	
(4) 児童、生徒の実態に合わせ、集団または個別に行う。	
(5) 家庭、地域と連携して学校の教育活動全体を通して行う。	

資料2 作成の手順

■作成の手順



資料3 性に関する指導

年間指導計画（中学部1学年）

性に関する指導 年間指導計画（中学部 1 学年）

ねらい

- 自分の心身の発達や変化に気付く、自分や他人を大切にしようとする心構えを養う。
- 男女の身体には違いがあることを理解し、互いに相手を理解しようとする態度を育てる。
- 家庭や社会のルールを学び、適切な判断や行動がとれるための力を身に付ける。

時期	項目	内容	時間数	指導形態	各教科での扱い	チェック表番号
4月						
5月						
6月	大切な体	各部位の名称 器官の働き	1	学級	日常生活の指導 でも行う	12, 13
7月		プライベートゾーン	1	学年、学級	日常生活の指導 でも行う	14
8月						
9月						
10月	大切な体	男女の違い 身体の発達・発達、個人差	1	男女別、学級		24, 26, 27
11月						
12月	人とのかわり	心地よい関係	1	学級	自立活動、日常生活の指導でも行う	1～3
1月	人とのかわり	家族の成り立ち 一員としての役割	1	学年		4, 5
2月						
3月						

資料4 性に関する指導 チェック表

性に関する指導チェック表		学部	氏名	1	2	3	4	5	6
内容	要点	備考	1	2	3	4	5	6	
1 人とのかわり	1 心地よい関係	心地よさの体感 他者への意識・関心 他者との心地よいかかわり 他者との適切な距離感							
	2 私と家族	家族の中での自分の役割（人の役に立つことを知る） 家族の成り立ち（結婚・出産・子育て） 性被害から身を守る 加害者にならないための心構え							
	3 自分を守ろう	性感染症・エイズ 性に関する情報への対処の仕方							
2 大切な体	1 生命の誕生	受精（お父さん・お母さんから生まれてきた自分） 胎児の成長 お母さんのおなかの中							
	2 大切ないのち	自分が生まれてきたときの家族の喜び							
	3 大切な体	自分の体への関心 体の部分・名称・働き プライベートゾーン 汚れに気づく							
3 大切な体	2 きれいな体	歯みがき・洗顔・手洗い 入浴・衣類・衣類・化粧・性器の清潔							
	3 トイレの使い方	トイレの使い方（排便・排尿） 排便・排尿後の処理 トイレのマナー（フック・スリッパ・靴をかける）							
	4 身だしなみ	衣服の着脱・着替えの仕方 ハンカチの持ち方、爪切り、耳掃除 ひげそり・むだ毛の処理 自分の成長に気づく							
4 大切な体	5 大きくなる体	成長に必要な要素（栄養・運動・睡眠） 発達・発達の変化、個人差 男女の違い							
	6 大人になる体	月経・排卵の仕組み、射精の仕組み 妊娠・胎児の成長・出産 心の成長・異性への関心							
	1 思春期の心	性的欲求、性についての不安や悩みの対処法 性意識と望ましい性行動の選択・男女交際 自分の性別（自分の性への理解）、男女の違い							
5 性	1 性について、多様な性（性的マイノリティ）	自分の性別（自分の性への理解）、男女の違い 心の性や体の性 社会のルール（トイレ・風呂・着替え） ジェンダー							
	2 性被害の防止	デートDV・男女交際 性交・妊娠・出産 避妊法・人工妊娠中絶							
	3 性被害の防止	一人一人のよいところを知り、気づく 適切な判断・意思決定・行動選択ができる 自尊感情・自己肯定感を養う							

- ◎指導の際には関連する項目を登録して系統的に授業を実施する。
- ◎児童生徒の実態と年度ごとの実施項目を参考に計画的に指導する。
- ◎実施した項目に○印をつける。

【年度末】担任・担当 → 各学部 保健体育係 → 保健室で管理

第2節 研究の概要

1 研究の主題

筆者は、本校での勤務が4年目となる。この間にも、子どもたちの性に関する困りごとを目の当たりにすることが日々あった。その内容は幅広く、衣服の着脱や手洗い、排泄等の基本的な身辺自立に関することや人とのかかわり方等の対人関係についての悩み、SNSの使い方等、枚挙にいとまがない。こういった問題に遭遇するたびにどうしたらよいのか悩み、他教員と話し合ったり、子どもへのアプローチを変えてみたりしたが、子どもの困りごとそのものを解消できることはほとんどなかった。

釈然としない思いを抱える中、本校では令和3年度より「生命（いのち）の安全教育」が始まり、モデル校としての実践を進めていった。筆者もチームの一員として「生命（いのち）の安全教育」に携わり、年間指導計画や指導案等の作成、会議や協議等への参加、授業実践等に取り組んできた。「生命（いのち）の安全教育」を契機に、本校における性に関する指導の体制が体系化されていくとともに、筆者自身においても、性に関する指導の重要性をますます強く感じるようになった。

そのような状況の中で、本校の性に関する指導の体制について改めて検討し、「個別的な学び」の存在について目を向けるようになった。確かに、「生命（いのち）の安全教育」の取組の一環として、各学年の「性に関する指導 年間指導計画」等を作成することにより、子どもたちがその年齢段階において学習する内容が体系化され、子どもの生活年齢を考慮した系統的な学びの場面は増えていった。しかしながら本校は、さまざまな特性のある児童生徒が所属する特別支援学校である。そのような子どもたちにとって、それぞれの発達段階や特性等を踏まえた「個別的な学び」についても、同様に大切にすべきだと思われる。

もちろん、「個に応じた学び」の充実に向けて、校内ですでに取り組んでいる事例もあった。しかしながら、そのような事例において、教員がどのようにアプローチし、実践を進めているのかについて学校全体では共有されておらず、各担任の采配や力量によるところが大きいことがうかがえた。

このような実情を踏まえ、「子どもたち一人ひとりの性に関する課題や悩み等について向き合い、考え、それぞれの子どもに寄り添った支援をすることで、学びを充実させていきたい。そして、それを実現するための手段についても検討したい。」という思いが強まり、このことをねらいとして本研究が始まった。

研究主題は、以下のとおりである。

研究主題 「障害のある児童生徒一人ひとりの発達段階や障害特性を踏まえた性に関する指導の充実と発展」

2 研究の方法

研究は、以下の手順で進めていく。

まず、学習指導要領における性に関する指導の位置付けを確認するとともに、最新の研究についての知見等を得るために、文献や専門書籍の調査や各種研修会への参加を行う。

次に、校内の組織体制を整えるために「ココカラプロジェクト」を発足し、定期的な推進委員会を開催することで、「性に関する指導 個人重点目標」の作成等、より個に応じた性に関する指導について、全校を挙げて取り組んでいく。ココカラプロジェクトに関しては、第2章第2節にて詳しく説明する。

続いて、「性に関する指導 個人重点目標シート」や「性に関する指導 つながる振り返りシート」、「ココカラだより」等、個に応じた性に関する指導を進めていくために必要な様式等を新たに作成し、活用する。作成した様式やその活用事例については、第2章第3節にて紹介する。

そして、「生命（いのち）の安全教育」を題材に研究授業および研究協議を行うことで、教材・教具や指導内容の充実と発展を図る。第2章第4節にて、実際の授業で使用した指導案等を掲載している。

なお、研究全体を通して、互いの取組に相乗効果をもたらすことができるように、「生命（いのち）の安全教育」との連携を密に行い、協働しながら研究を進めていく。

研究方法とその具体的内容の一覧は、表1のとおりである。なお、「生命（いのち）の安全教育」と連携、協働して取り組んだ箇所は**太字**で示している。

表1 研究方法とその内容

研究方法	内容
1. 文献調査および研究大会への参加	① 文献調査および専門書籍の活用 ② 各種研修会への参加（ 「生命（いのち）の安全教育全国フォーラム」含む ） ③ ①②で得た知識の整理と活用
2. ココカラプロジェクトの発足と推進	① 発足のための下準備（説明資料の作成や役割の整理等） ② ココカラプロジェクトの発足と推進委員会の開催（ 「生命（いのち）の安全教育」との合同会議含む ） ③ 学識経験者等による指導助言および進捗状況の確認
3. 様式の作成と活用	① 様式作成のための下準備（各学部の実態調査等） ② 様式（原案）の作成と修正 ③ 様式の活用と活用事例の収集
4. 研究授業および研究協議	① 指導案等の検討と作成、修正 ② 研究授業の実施（ 題材：「生命（いのち）の安全教育」 ） ③ 研究協議およびアンケート調査

第2章 研究報告

第1節 文献調査および研究大会への参加

1 学習指導要領における性に関する指導

まず、学校教育の基礎基本の指針である学習指導要領において、性に関する指導がどのように位置付けられているのか、基本的な考え方はどのようなものなのかについて改めて整理し、理解を深めた。

小学校学習指導要領（平成29年3月）では、性に関する指導を含めた健康に関する指導について、以下のとおり述べられている。（中学校版、高等学校版においても同様）

「(3) 学校における体育・健康に関する指導を、児童の発達の段階を考慮して、学校の教育活動全体を通じて適切に行うことにより、健康で安全な生活と豊かなスポーツライフの実現を目指した教育の充実に努めること。特に、学校における食育の推進並びに体力の向上に関する指導、安全に関する指導及び心身の健康の保持増進に関する指導については、体育科、家庭科及び特別活動の時間はもとより、各教科、道徳科、外国語活動及び総合的な学習の時間などにおいてもそれぞれの特質に応じて適切に行うよう努めること。また、それらの指導を通して、家庭や地域社会との連携を図りながら、日常生活において適切な体育・健康に関する活動の実践を促し、生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送るための基礎が培われるよう配慮すること。」¹⁾

資料の一部抜粋（平成29年小学校学習指導要領より）

また、「改訂「生きる力」を育む小学校保健教育の手引」では、性に関する指導を進めるうえでの指導上の留意点として、表2に示す4点を示している。

表2 性に関する指導 指導上の留意点^{2) 3)}

	性に関する指導 指導上の留意点
①	「児童の発達の段階を踏まえること」
②	「学校全体で共通理解を図ること」
③	「家庭・地域との連携を推進し保護者や地域の理解を得ること」
④	「集団指導と個別指導の連携を密にして効果的に行うこと」

次に、令和5年度に開催された第51回全国性教育研究大会に参加し、文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課健康教育調査官横嶋剛氏による基調講演「学習指導要領に基づく性に関する指導」を聴講した。以下、本研究大会の集録誌に掲載してある内容の一部を引用しつつ、学習指導要領における性に関する指導の位置付け等について確認する。

横嶋（2023）によると、学習指導要領では、「これまでの学校教育の蓄積を生かし、学習の質を一層高める授業改善の取組を活性化していくことが必要であり、我が国の優れた教育実践に見られる普遍的な視点である「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進することが求められて」⁴⁾ おり、同時に、「各学校において、学校全体として、子供たちや学校、地域の実態を適切に把握し、教育内容や時間の配分、必要な人的・物的体制の確保、教育課程の実施状況に基づく改善などを通して、教育活動の質を向上させ、学習の効果の最大化を図るカリキュラム・マネジメントに努めること」⁴⁾ も求められている。さらに、「性に関する指導についても、一つの教科でのみ行うものではなく、各教科等の特質を生かした指導の充実が求められ、単元や題材など内容や時間のまとまりの中で、どの学年でどの教科等と関連付けて指導を行うのか考える必要がある。」⁴⁾ とある。

加えて、「性に関する指導を行う上で、小学校・中学校・高等学校それぞれの学習内容を体系的に指導すること」⁴⁾ も大切であるとされている。つまり、「性に関する指導は学校教育活動全体を通して行うこととなるが、性に関する指導で多くの実践が見られる『体育科、保健体育科』及び『特別活動（学級活動・ホームルーム活動）』において、学習内容がどのように位置付けられているのか確認する必要がある。」⁴⁾ ということである。

さらに、性に関する指導は、「主に集団の場面で、あらかじめ適切な時期・場面に必要な指導・援助を行うガイダンスに加えて、主に個別指導により、個々の子供が抱える課題の解決に向けての指導・援助するカウンセリングを、それぞれ充実させていくという視点が必要」⁴⁾ であるとともに、「一人一人の発達の特性等に応じた個別指導を充実させていくこと」⁴⁾ も重要である。そのため、「各学校においては、全教員の共通理解のもと、集団指導で取り扱う内容と個別指導で取り扱う内容をよく整理した上で、性に関する指導を推進する必要がある。」⁴⁾ とされている。

2 性に関する指導の推進体制

続いて、東京都教育委員会が作成した「性教育の手引」（以下、東京都手引）を精読し、東京都教育委員会が示す性に関する指導の推進体制について調査した。

東京都手引によると、「学校の教育活動全体を通して性教育を実施するためには、性教育を推進するための校内体制を確立することが必要」⁵⁾ であり、さらに「組織を効果的に機能させるためには、校務分掌に委員会等を設置し、役割分担を明確にすること」⁵⁾ も大切であるとされている。

組織編成や校内外の相談体制についても記述があり、「効果的な組織運営が図られるようにするためには、校長、副校長、主幹教諭・指導教諭、養護教諭、教育相談担当者や、関係教科・学年の担当者等で、幅広く構成することが大切」⁵⁾ であり、「学校、家庭、地域が連携した性教育を推進するとともに、性被害や性的搾取も含め、性に関する問題の発生防止と解決を図るため、校内の相談体制を整備し、地域の関係機関等の支援や協力の下、校外組織と連携を図ることも大切」⁵⁾ であると示している。東京都手引は、性教育に携わる教職員の構成とその役割についても詳細に示している。

また、「学校において、性教育を適切かつ円滑に進めるためには、全教職員による共通認識と役割分担による協力が不可欠」⁵⁾ であり、「学校の規模や実態等の状況を踏まえて、職や分掌等に応じ、それぞれの役割」⁵⁾ を捉え、「性教育の推進を図ることが大切」⁵⁾ であると示している。

第2節 ココカラプロジェクトの発足と推進

1 ココカラプロジェクトについて

以上の調査等を踏まえ、本校における性に関する指導の組織編成はどのようなものになっているのか現状を分析し、組織図を作成した。現行の組織図は、図1のとおりである。

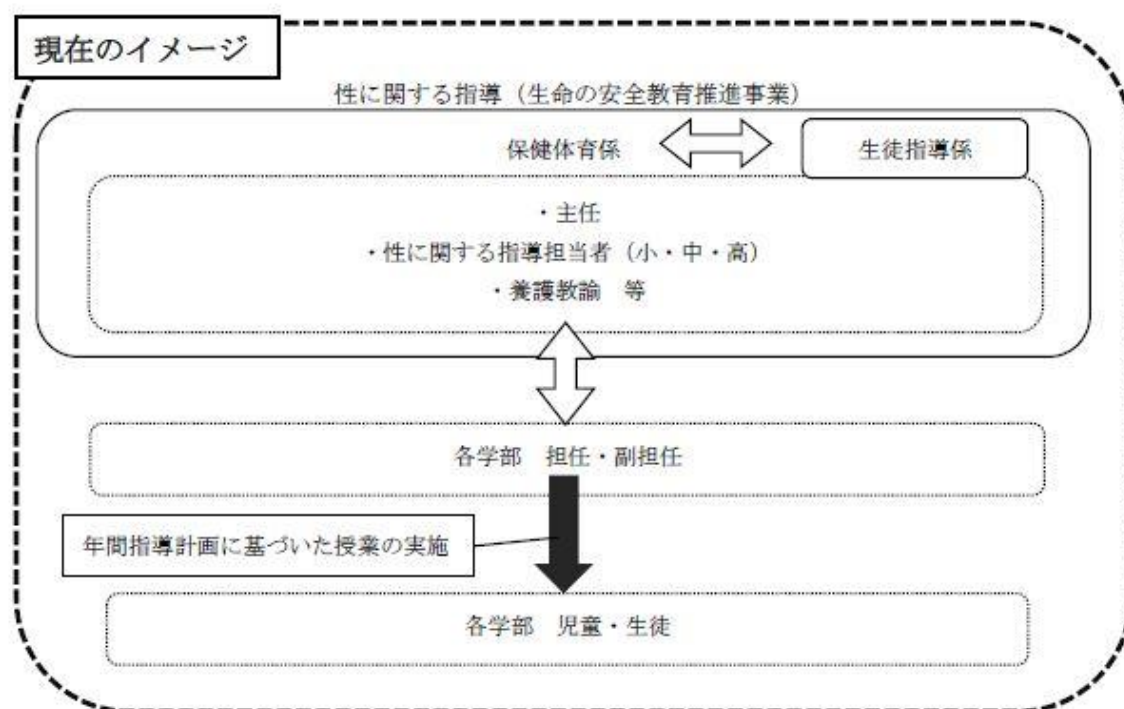


図1 現行の組織図

改めて整理することで、「性に関する指導に携わる教員の少なさと幅の狭さ」や「保護者や地域、外部機関との連携の希薄さ」等、本校における組織編成の懸念点がいくつか浮かび上がった。従来の組織のままでは、保健体育係の負担感が大きい。また、現状では保護者や地域、外部等との連携も、各担任の采配や力量に委ねられており、実際どのようにやりとりをしているのか、どの程度かかわっているのか、具体的な姿が見えにくい。

このような実情を踏まえると、本研究を進めていくにあたって、まず必要なのは「より幅広い、より多くの人材」であると考えた。そこで、性に関する指導を進めていくためのプロジェクトチームを立ち上げた。プロジェクトの正式名称は、「**こころとからだの大切さを理解し、尊重していくための教育推進プロジェクト**」とし、通称、「**ココカラプロジェクト**」と呼称することとした。「こころ」と「からだ」をキーワードに取り入れることで、一昨年度、昨年度、今年度と本校が携わってきた、「生命（いのち）の安全教育」と関連性をもたせている。

ココカラプロジェクトには、いくつかの役割と期待する効果がある。例えば、校内で足並みをそろえるための連絡と調整の役割である。ココカラプロジェクト推進委員会の開催により、学部や学年を問わない現状報告や情報交換を定期的に行うことが可能になる。また、各学部からココ

カラプロジェクト担当者を決め、担当者間で連携を取り合うことで、研究を円滑に進めることが可能になる。結果として各学部での歩調がそろい、学校全体で一丸となって取り組むことができると期待している。加えて、現状の組織図を踏まえ、学校と保護者、地域等をつなぐための情報発信という役割をもたせた。具体的には、性に関する指導にテーマを絞った学校だより「ココカラだより」の発行等がある。いくつかの役割の中で、最も要となるものが、個に応じた学びを実現可能にするための基礎作りである。ココカラプロジェクトとして、児童生徒一人ひとりの個別の性に関する指導についても目を向け、メンバー内で熟議をしながら、その学びをより一層充実したものにするため何ができるのか、何が必要なのかについて検討し、必要な文書等を作成していく。いわば、下準備である。そして最後が、「生命（いのち）の安全教育」との連携である。「生命（いのち）の安全教育」と「ココカラプロジェクト」が連携し、協働しながら互いの研究を進めていくことで、本校における性に関する指導に関して、集団の学びと個別の学びの両方が充実していくことを期待している。

ココカラプロジェクト介入後のイメージは、図2のとおりである。

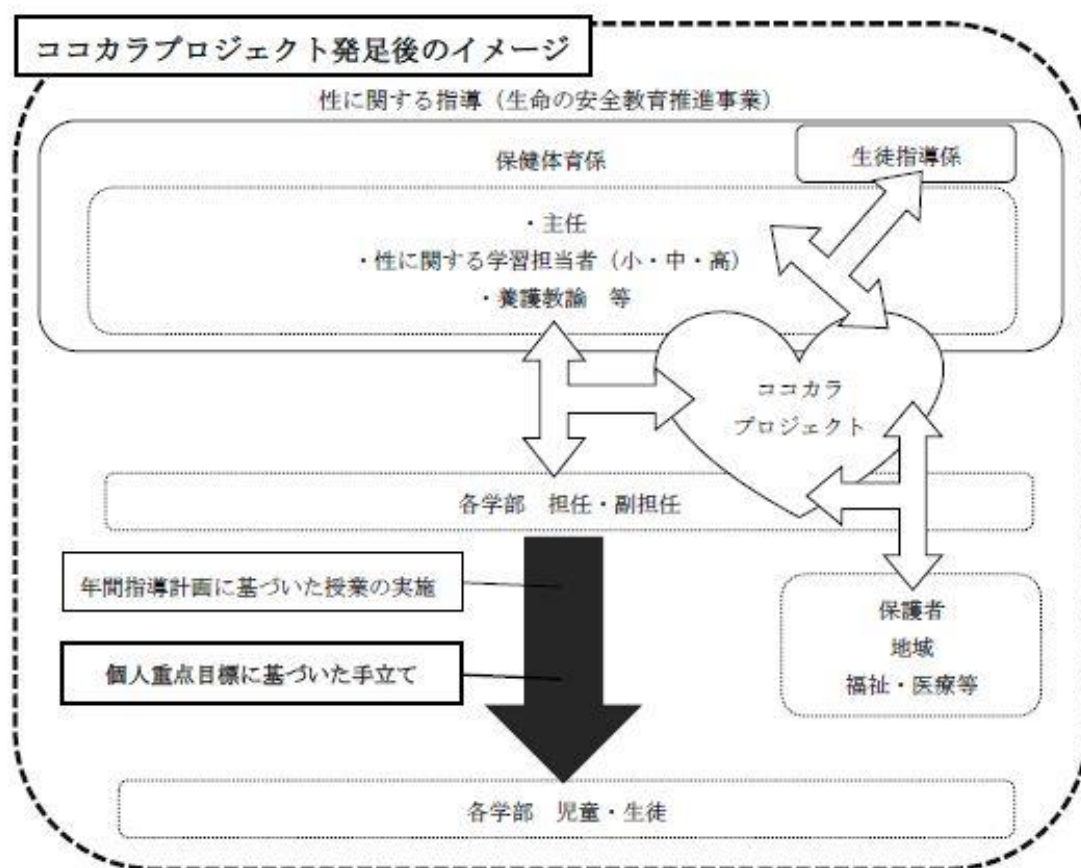


図2 ココカラプロジェクト発足後の組織図

ココカラプロジェクトの構成員とそれぞれの役割は、表3のとおりである。なお、編成に関しては東京都手引を参考にしながら、本校の実情を踏まえて適宜修正や変更を加えた。

表3 ココカラプロジェクトの構成員と役割

構成員（人数）	役割
校長（1）	・性に関する指導の意義や自校の課題等について十分理解し、実施状況を把握するとともに、学校としての基本方針を明確にし、学校全体で推進を図る。 ・性に関する指導の全体計画の内容を確認するとともに、計画に基づいて行われる指導内容を週ごとの指導計画から把握し、教職員全体に対して適切に指導および助言を行う。 ・性に関する指導に効果的な教材・教具等を十分に把握し、適正な推進に努める。
教頭（本校1、分教室1）	・性に関する指導の意義や自校の課題等について十分理解し、実施状況を把握するとともに、学校全体で推進を図る。 ・性に関する指導の全体計画の内容を確認するとともに、計画に基づいて行われる指導内容を週ごとの指導計画から把握し、教職員全体に対して適切に指導および助言を行う。 ・性に関する指導に効果的な教材・教具等を十分に把握し、適正な推進に努める。
各学部主事（各1）	・性に関する指導の全体計画（在籍学部）を定め、その内容を確認するとともに、計画に基づいて行われる指導内容を把握し、教職員（在籍学部）に対して適切に指導及び助言を行う。 ・性に関する指導に効果的な教材・教具等を十分に把握し、適正な推進に努める。
保健体育係主任（1）	・生徒指導係主任と連携しつつ、学校保健計画に基づく学校保健活動を推進するなかで、児童・生徒の性に関する指導が適切に行われるよう努める。 ・性に関する指導における児童・生徒の意識や行動の状況を把握する。 ・学校保健委員会等を通して、家庭や関係機関等と連携を図るとともに、情報等を教職員や家庭・地域に提供する。
生徒指導係主任（1）	・保健体育係主任と連携しつつ、児童・生徒の性に関する指導が適切に行われるよう努める。 ・児童・生徒の意識や行動の状況を把握する。 ・性に関する指導を推進するうえで、集団や個別の指導を通して、児童・生徒の望ましい意識や態度の育成に努める。

各学部保健体育係教員 (各 1～2)	・在籍学部児童・生徒への性に関する指導が適切に行われるよう努める。 ・学校保健委員会等を通して、家庭や関係機関等と連携を図るとともに、性に関する指導についての情報等を在籍学部内の教職員や家庭・地域に提供する。
養護教諭 (本校 2、分教室 1)	・専門性を生かして性に関する指導の全体計画立案や教職員の研修内容等に積極的にかかわり、校内における性教育の推進を支える。 ・保健室の機能を通して得られた児童・生徒の性に関するさまざまな情報等を整理し、個別の指導に生かす。 ・健康相談において、児童・生徒のさまざまな性に関する意識や問題等を把握し、その背景を分析するとともに、問題解決のための支援や関係者との連携に努める。
研究協力者 (1)	・研究代表と連携し、本研究の進捗状況等を確認する。 ・本研究への指導・助言を行う。
研究代表 (1)	・プロジェクトチームを立ち上げるなどして、性に関する指導の校内体制を整える。 ・日程調整を行い、定期的に会議を開く。 ・「生命 (いのち) の安全教育」主担当者で連携・協力する。 ・学部間の連絡・調整を行う。 ・家庭、地域、関係機関等への情報提供を行う。 ・系統立てて進めていくための諸様式 (原案) を作成する。 ・主指導者として研究授業を実施し、研究協議を開催する。 ・研究協力者と連携し、本研究の進捗状況等を報告する。 ・研究の報告を行う。

2 第 1～3 回ココカラプロジェクト推進委員会

これまでに計 5 回にわたるココカラプロジェクト推進委員会を開催し、「生命 (いのち) の安全教育」と連携しつつ、学識経験者等による指導助言および進捗状況の確認、その他情報交換等を行ってきた。以下にその内容について報告する。

第 1 回では「生命 (いのち) の安全教育」の活動に関する報告、本研究の概要説明およびココカラプロジェクトや「性に関する指導 個人重点目標」についての説明を研究代表より行った。

「性に関する指導 個人重点目標」に関しては、メンバー内で協議を行い、合意形成を図ることができた。目標を設定する前提となる保護者アンケートに関しては、全校で実施することで合意できたが、その形式をどのようにするかについてはさまざまな意見が挙がり、活発な意見が交わされた。

実際の意見は、下記のとおりである。

《挙げた意見》

- ・性に関する悩みは、記述式のアンケートだと答えにくいのではないかな。
- ・アンケートの様式は、記述式ではなくチェックリスト形式のほうがよい。
- ・記述式もあったほうがよい。性に関する悩みをしっかりと書いてくれる保護者もある。
- ・チェックリストの項目は、「性に関する指導 チェック表」を活用するとよい。
- ・現状のチェック表の内容をそのままアンケートに活用するとすると、項目が多すぎる。
- ・回答の際、保護者が混乱したり、回答する気を失ってしまったりするのではないかな。
- ・「性に関する指導チェック表」の項目は、例えば性感染症等、高等部の生徒には必要な内容であるが、小学部の児童には適していない内容も含まれているため、ひとつのアンケートの形式を、小学部から高等部まで一律に使用することはできない。

これらの意見を踏まえ、再検討した結果、「保護者アンケートに関しては、記述式とチェックリストによる選択式を組み合わせた様式のもの、学部別に用意し、夏季休業前に保護者へ配布する」ことを決定した。

表4 第1回ココカラプロジェクト推進委員会

日時	令和5年6月30日（金）
参加者	プロジェクトメンバー
内容	1. 自己紹介 2. 今年度に至るまでの経緯の説明 ・「生命（いのち）の安全教育」推進事業の取組について ・昨年度の課題の共有 3. ココカラプロジェクトに関する説明 ・プロジェクトの位置づけ ・研究の背景と目的 ・性に関する指導の進め方について ・「生命の安全教育」推進事業との連携について 4. 検討事項について ・実行範囲の決定 ・人権教育との関連について ・「性に関する指導 個人重点目標」について ・保護者アンケートについて 5. 質疑応答
配布資料	・第1回ココカラプロジェクト担当者会議実施要綱 ・「生命（いのち）の安全教育」活動報告書 ・ココカラプロジェクト年間計画案

第2回では、第1回委員会で挙げた意見を踏まえて作成した、「性に関する指導 個人重点目標」に係る保護者アンケートについての協議が主となった。

作成したアンケートについて、プロジェクトチーム内で再検討し、内容に不備等がないか確認および修正を行い、夏季休業前に小・中学部、高等部、分教室保護者に配布を行った。

表5 第2回ココカラプロジェクト推進委員会

日時	令和5年7月5日（水）
参加者	プロジェクトメンバー
内容	- ココカラプロジェクトの今後の流れに関する説明 - ココカラプロジェクト学部代表の決定 「性に関する指導 個人重点目標」について - 保護者アンケートの実施について - 保護者宛文書について - 配布時期の調整 - アンケート回収後の流れについて - 質疑応答
配布資料	- ココカラプロジェクト 今後の流れについて - 性に関する指導 保護者宛文書 - 性に関する学習 保護者アンケート

第3回では、主に夏季休業中の計画について確認するとともに、新たに作成した「性に関する指導 個人重点目標シート」および「性に関する指導 つながる振り返りシート」、「ココカラだより」について説明し、プロジェクトチーム内で共通理解を図った。

また、本研究の協力者である国立特別支援教育総合研究所真部信吾先生にも出席いただき、研究の進捗について報告した。真部先生には、進学・就労先への適正な引継ぎという視点から指導助言をいただいた。

《指導助言内容》

- ・性に関する指導について、学校全体で共通理解を図りながら、計画的に進めている点がよい。引き続きチームとして取り組んでもらいたい。
- ・性に関する悩みや問題については、学校卒業後の就学先でも多く耳にする。ぜひ、校内のみならず、保護者や地域、外部機関や進学、就学先とも情報共有を行い、確実な引継ぎを行ってほしい。
- ・学校で学習してきた性に関する指導の内容が、学校を卒業した後も、進学先または就労先に適切に引き継がれるように、学習したワークシート等を綴りにするファイルがあったらよい。
- ・キャリア・パスポートの視点を取り入れるとよい。

表6 第3回ココカラプロジェクト推進委員会

日時	令和5年7月21日（金）
参加者	プロジェクトメンバー
内容	1. 夏季休業中の計画について 2. 「性に関する指導 個人重点目標シート」について 3. 「性に関する指導 つながる振り返りシート」について 4. 「ココカラだより」の目的と運用について ・個人写真掲載承諾書について 5. 今後の課題および検討事項について 6. 研究協力者より助言
配布資料	・第2回ココカラプロジェクト担当者会議実施要項 ・ココカラプロジェクト 年間計画案（修正版） ・性に関する指導 個人重点目標シート（本紙・記入例A、B） ・性に関する指導 つながる振り返りシート ・ココカラだより 個人写真掲載に係わる承諾書

3 第4・5回ココカラプロジェクト推進委員会

第4、5回の委員会は、「生命（いのち）の安全教育」と合同して行うことで、推進委員の先生方にも参加いただいた。主な内容は、「生命（いのち）の安全教育」についてこれまでの成果報告と、今後に向けた連絡と協議、およびココカラプロジェクトに関する概要説明である。第4回では、各実践協力校へ本校作成の教材を活用した授業実践および該当授業の参観について依頼を行った。

表7 第4回ココカラプロジェクト推進委員会

日時	令和5年9月22日（金）
参加者	プロジェクトメンバー、生命（いのち）の安全教育推進委員
内容	1. 開会行事 2. 「生命（いのち）の安全教育」成果報告 3. 計画に関わる概要説明 ・授業実践について ・実践協力校へのお願い ・ココカラプロジェクトについて 4. 質疑応答 5. 閉会行事
配布資料	・「生命（いのち）の安全教育」推進事業担当者会議開催要項 ・ココカラプロジェクトについて（説明資料）

第5回では、学識経験者等を交えた協議を行った。協議は、「児童生徒の変容を把握することについて」という議題のもと行い、活発な意見交換を行うことができた。

《挙げた意見》

- ・(子どもの変容を把握することについて…) 数値化したデータを求められることがあるが、アンケートをとったとしても客観性に欠ける場合もある。同じアンケートを続けるにしても、質問の仕方を工夫したり、何を聞くのか範囲を絞ったりするとよい。また、教員の丁寧な観察で変容を見取ってはどうか。家庭での様子も、家庭と連携しつつ進めることがよい。
- ・実践協力校と連携・協力しつつ、実践を続けてほしい。
- ・保護者と連携していることが大事なポイントだと思う。家庭での様子も変わるので、保護者に変容を尋ねることも必要である。他校でも、先進的な取組をしているところがある。実践校以外の支援学校、一般の学校の取組も参考にするとよいと思う。
- ・保護者と連携して個人の重点目標を作成し、署名までもらっていることに驚いた。このようなアンケートを実施することで、今後保護者からいろいろな意見が出てくるとなると望ましい。
- ・(実用的な資料の作成について…) フォーマットはある程度決まっていたほうがよい。その場限りの資料にならないように。
- ・(変容の把握について…) 3択ではなく数直線をひいて、よい意味でファジーに答えることができるように、アンケートの聞き方を工夫してみてもどうか。

表8 第5回ココカラプロジェクト推進委員会

日時	令和5年10月16日(月)
参加者	プロジェクトメンバー、生命(いのち)の安全教育推進委員
内容	1. 開会行事 2. 研究報告 3. 今年度活動計画 4. 意見交換・質疑応答 ・今年度の取組についての感想や疑問 ・他校と連携する際の注意点 ・実用的な資料を作成する際の留意点など 5. 閉会行事
配布資料	・「生命(いのち)の安全教育」推進事業に係る第1回推進委員会開催要項 ・ココカラプロジェクトについて(説明資料)

以上が推進委員会の報告である。なお、第6回ココカラプロジェクト推進委員会の開催に向けて、令和6年3月現在「生命(いのち)の安全教育」と連携しつつ、準備を進めているところである。

第3節 様式の作成と活用

1 様式の一覧

これから紹介する各様式は、個に応じた学びや保護者との連携の重要性に着目したことが出発点となり、検討と修正を重ね、現在の形になった。

以下、表9にて本研究の取組として作成した様式を紹介する。なお、「性に関する指導 保護者アンケート」に関しては学部別の様式があるが、ここでは一例として中学部のものを掲載している。

表9 作成様式一覧

実施学部	作成様式	対象	資料番号
全学部	・性に関する指導 保護者アンケートのお願い	全保護者	掲載なし
	・性に関する指導 保護者アンケート		5
全学部	・性に関する指導 個人重点目標シート ・記入例A、B	全教員	6～8
中学部	・性に関する指導 指導計画表	中学部 保護者	9
中学部	・性に関する指導のお知らせ ・性に関する指導 学習計画	中学部 保護者	10、11
中学部	・性に関する指導 つながる振り返りシート	中学部 生徒・教員・ 保護者	12
全学部	・ココカラだより第1号	全保護者	13
	・ココカラだより 写真掲載に係る承諾書		掲載なし

資料5 性に関する指導 保護者アンケート（中学部）

表面

別紙

中学部	年	生徒氏名
-----	---	------

お子様について、以下の質問1～8にお答えください。なお、ご記入いただける質問のみで構いません。

質問1 お子様身に付けてほしい項目を、優先順位の高いものから順に1～3まで選択し、「優先順位」の欄に数字で記入してください。また、「学習内容例」で、特に気にする内容については、□のなかに○をつけてください。（複数選択可）

優先順位	項 目	学習内容例
	人とのかかわり	☐ 心地よさの体感 ☐ 他者への喜顔・笑顔 ☐ 他者との心地よいかわり ☐ 他者との適切な距離感 ☐ 家族の中での自分の役割（人の役に立つことを知る） ☐ 家族の成り立ち（結婚・出産・子育て） ☐ 性被害から身を守る 加害者にならないための心得 ☐ 性感染症・エイズ ☐ 性に関する情報への対応の仕方
	生命の尊さ	☐ 受胎（お父さん、お母さんから生まれてきた自分） ☐ 胎児の成長、お父さん、お母さんから生まれてきた自分
	大切な体	☐ 自分の体への関心 ☐ 体の部分・名称・働き ☐ プライバシーゾーン ☐ 裸に気付く ☐ 着み向き・表面・手洗い ☐ 入浴・洗体・洗髪・性器の清潔 ☐ トイレの使い方（排泄・排便） ☐ 排便・排便後の処理 ☐ トイレのマナー（ノック・スリッパ・鍵をかける） ☐ 衣服の着脱・着替えの始末 ☐ コンタクトの着脱・点眼液・耳掃除 ☐ ひげそり・むだもの処理 ☐ 自分の成長に気付く ☐ 成長に必要な要素（栄養・運動・睡眠） ☐ 发育・発達の性差、個人差 ☐ 妊娠・胎児の成長、出産
	大人になる心	☐ 心の成長・異性への関心 ☐ 性的欲求、他について不安や悩みへの対処法 ☐ 性意識と健全な性行動の選択、男女交際 ☐ 自分の性別（自分の性への理解）、男女の違い ☐ 自分のセーレン（トイレ・風呂・着替え） ☐ ジェンダー ☐ デートDV・男女交際
	性別	ロー入りのよいところを知り、 適切な服装・着替えを、行動選択ができる
	その他	☐ 自尊重厳・自己肯定感を養う

裏面

質問2 質問1について、具体的な内容等があれば記入してください。

質問3 ご家庭で、性に関する悩み等があれば記入してください。

アンケートへのご協力をありがとうございました。今回ご回答いただいた内容と各担任の指導計画を基に、「性に関する指導 個人重点目標」を作成いたします。目標については、後日、各担任よりお知らせいたします。

提出先 各担任→各学部 性に関する指導担当

～以下はアンケート印刷後に記入をお願いします～

性に関する学習 個人重点目標

中学部	年	生徒氏名
-----	---	------

（この欄は各担任が記入します）

上記の目標についてご確認いただけますと大変ありがたいです。9月1日（金）に各担任へご提出ください。

保護者氏名

今後は、「性に関する指導 個人重点目標」を基に、より個に応じた学習を進めて参ります。また、「性に関する指導 個人重点目標」について、ご不明な点等がありましたら、お気軽に担任までご連絡ください。

資料6 性に関する指導 個人重点目標シート

記入者名（ ）

性に関する指導 個人重点目標シート

個人重点目標

児童生徒氏名（ ）

保護者、担任・担当の思い、目標設定の意図等（※自由記述）

個人重点目標達成に向けた手立て（※自由記述）

※担任・担当等として、目標達成に向けてどのような手立てで進めていくか、その方向性を記入してください。

その他（※自由記述）

※目標達成に向けた取組を進める上で、担任・担当等としての不安や悩み、要望等があれば、ご自由に記述してください。

ありがとうございました。 月（ ）までに、 にご提出ください。

資料7 記入例A

記入例A

性に関する指導 個人重点目標シート

個人重点目標

（例）人前で関するところについての知識を身に付け、約束をまもることができる。

・「人前」は、教室や校庭の敷地内など、学校や部活動の活動範囲内を指します。
・「関するところ」は、更衣室やトイレなど、プライバシーが保たれていない場所を指します。

保護者、担任・担当の思い、目標設定の意図等（※自由記述）

（例）アンケート結果より、保護者は「人前で大事なことを知るようになり、どう対応したらよいかわからない」と悩んでいた。学校でも同様の行動があり、どう対応したらよいかわからない。そこで、保護者と協力して、目標を上記のように設定した。

個人重点目標達成に向けた手立て（※自由記述）

※担任・担当等として、目標達成に向けてどのような手立てで進めていくか、その方向性を記入してください。

（例）まずは、保護者と密なやりとりをして、情報を収集するところから始める。

「人前で関するところ」の知識・理解については、性に関する学習の時間に学んだことを個別の時間におさらいすること、定着を図っていく。また、そういった行動が見られたときは、「大事なところだから、隠そうね」というように、隠さなくてはならない場面と適切な行動を伝えるなどして、日常的な観察と声かけを行っていく。

・目標達成に向けた手立てについて、思い通りの行動の取組のほうなことを
・自由に書いてください。
・文章でも、言葉でも構いません。

その他（※自由記述）

※目標達成に向けた取組を進める上で、担任・担当等としての不安や悩み、要望等があれば、ご自由に記述してください。

（例）支援の方向性を統一するため、学部内・学級内で対策を検討し、共通理解することも必要だと
思う。対応する教師によって支援の方法が違ったり、子どもが混乱してしまうので、また、そのほか
が適切な声かけやその他の支援方法があれば知りたい。

・手立てや支援の方向性に悩んでいる場合、そのことを書いていただいてもOKです。
・こういう知識や情報が欲しい、などの要望でもOKです。

ありがとうございました。

資料8 記入例B

記入例B

性に関する指導 個人重点目標シート

個人重点目標

（例）公共の場所の使い方や、社会のルールについての知識を身に付け、決まりをまもることができる。

・「公共の場所」は、教室や校庭の敷地内など、学校や部活動の活動範囲内を指します。
・「決まり」は、更衣室やトイレなど、プライバシーが保たれていない場所を指します。

保護者、担任・担当の思い、目標設定の意図等（※自由記述）

（例）アンケート結果より、保護者は子どもが利用してはならない目的でトイレに入ることに悩んでいた。そういった思いに寄り添い、支援していくため、目標を上記のように設定した。

・アンケート結果より、保護者から「更衣室やトイレなど、プライバシーが保たれていない場所に入ることに悩んでいる」という声が多く聞かれました。

個人重点目標達成に向けた手立て（※自由記述）

※担任・担当等として、目標達成に向けてどのような手立てで進めていくか、その方向性を記入してください。

（例）保護者から、より詳しい情報を提供してもらったり、目標のかかわりの中で生徒の興味関心を満たすことで、行動の転換を促す。

・性に関する学習、校外学習等の時間に、社会のルールについて学習する。また、個別の時間に学んだことをおさらいする。

・必要に応じて、ケース会議や情報交換会を開く。

・放課後等支援施設とも連携し、情報を共有する。

・目標達成に向けた手立てについて、思い通りの行動の取組のほうなことを自由に書いてください。
・文章でも、言葉でも構いません。

その他（※自由記述）

※目標達成に向けた取組を進める上で、担任・担当等としての不安や悩み、要望等があれば、ご自由に記述してください。

保護者の思いはよくわかりましたが、学校では見られない行動なので、適切な手立ての実行（開門行動が起きた場面でのアプローチ）は難しいと思います。そのため、学校としては、社会のルールに関する知識・理解の定着など、違った角度からアプローチしていくことを検討しています。また、学校での学習を保護者に伝え、適切な手立てについては、主に家庭で取り組んでもらうことが必要になると考えています。

・手立てや支援の方向性に悩んでいる場合、そのことを書いていただいてもOKです。
・こういう知識や情報が欲しい、などの要望でもOKです。

ありがとうございました。

資料9 性に関する指導 指導計画表

中学校 性に関する指導 指導計画表					
学習計画（表5、10、23修正版）					
月日 校時	Aグループ (場所：)	学習内容	Bグループ (場所：)	学習内容	備考
9/25(月) 4校時	【大切な体】 各部位の名称、 器官の働き、 プライバシーゾーン等	【大切な体】 プライバシーゾーン、 異性への関心、性的欲求、不安や悩み等			
10/4(月) 4校時	【大切な体】 男女の違い、体の発育・発達、個人差等	【大切な体】 男女の違い、体の発育・発達、思春期の体の変化、男女交際、望ましい行動選択等			
10/11(木) 4校時	【大切な体】 男女の違い、体の発育・発達、個人差等	【大切な体】 男女の違い、体の発育・発達、個人差等			
10/23(月) 3校時	【人とのかわり】 人とのかわり、心地よい関係等	【人とのかわり】 性に関する情報の対称、性感染症・対処法、性被害等（生命の安全教育）			理科 資料 活用
11/15(月) 4校時	【人とのかわり】 家族の成り立ち、一員としての役割等	【人とのかわり】 性に関する情報の対称、性感染症・対処法、性被害等（生命の安全教育）			
12/5(月) 4校時	【人とのかわり】 家族の成り立ち、一員としての役割等	【人とのかわり】 性に関する情報の対称、性感染症・対処法、性被害等（生命の安全教育）			

※上記の学習内容で、生徒の実態に合わせ、繰り替えしが必要な場合は、担当や学級で個別に指導を行う。

資料10 性に関する指導のお知らせ

令和5年(2023年)9月1日
山口県立総合支援学校
校長 飯部 芳徳

中学校「性に関する指導」のお知らせ

時下 ますますご厚情のこととお喜び申し上げます。
平素は、本校教育推進のため格別のご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。
さて、本校中学校では、下記のねらいのもと、計画的に「性に関する指導」を実施しております。
(1) 自分の心身の発達や発育の変化に気づき、自分や他人を大切にしようとする心構えを養う。
(2) 男女の身体には違いがあることを理解し、互いに相手を理解しようとする態度を育てる。
(3) 家庭や社会のルールを学び、適切な判断や行動をとるための力を身に付ける。

今年度の学習計画は、別紙1のとおりです。ご都合がございましたら、ぜひ参観ください。
性に関する内容は、ご家庭では困難になりくい場合もあるかと思いますが、つきましては、「生徒・先生・家庭の人のための 性に関する学習 つながる振り返りシート」(別紙2)を毎回の授業後に返却いたしますので、ご家庭で困難にしていだければ幸いです。
また、つながる振り返りシートには、ご家庭からご意見等を記入していただく欄がありますので、授業の感想やご家庭での気づきや工夫等がありましたら、ぜひお寄せください。
なお、つながる振り返りシートには、学校からお子様の学習の様子をお知らせする欄もありますが、学習内容の都合上、各担任・担当以外の教員が記入する場合がありますので、あらかじめご理解ください。

担当
中学校教諭 飯部 芳徳
TEL 0838-25-7280

資料11 性に関する指導 学習計画

別紙1

令和5年度 中学校 性に関する指導 学習計画

月日、曜日 校時	学習内容
9月25日(月) 4校時	各部位の名称、器官の働き、プライバシーゾーン等
10月4日(月) 4校時	男女の違い、体の発育・発達、個人差等
10月11日(木) 4校時	男女の違い、体の発育・発達、個人差等
10月23日(月) 3校時	人とのかわり、心地よい関係等
11月15日(月) 4校時	家族の成り立ち、一員としての役割等

※学習計画は、「性に関する指導 年間指導計画」に基づいています。
※内容は、学年によって変更になる場合があります。
※授業は、学習内容に応じてグループを編成し、集団で行います。また、必要に応じて、学級や担任で個別に学習を行う場合もあります。

資料12 性に関する指導
つながる振り返りシート

性に関する指導 性に関する学習 つながる振り返りシート

令和5年度 中学校 性に関する指導 学習計画

今日のテーマ

生徒より

先生より

学習の様子をお知らせします。

先生より

ありがとうございました。先生よりご感想をお寄せください。

また、ご家庭でも考えていることや気づきなどがありましたら、どのようなことでもよいのでぜひお知らせください。

ありがとうございました。先生よりご感想をお寄せください。

資料13 ココカラだより第1号

山口県立総合支援学校 0838-25-7280

ココカラだより

第1号 令和5年12月

～ココカラだよりの大切さを理解し、中々するための教育推進プロジェクト～

わたしたちのココカラだよりについて、一緒に考えていきましょう。

暑い日が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか？

今年度、総合支援学校は、『ココカラプロジェクト』を立ち上げました。

児童・生徒一人ひとりの性に関する学習が、今までよりも充実したものになるように、学校全体で取り組んでいくとともに、保護者のみなさまのお力をお借りして、性に関するさまざまな悩みを、ここから一緒に考えていきたいと思っています。

ご理解・ご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

性に関するアンケートへのご協力、ありがとうございました。

先日は、性に関する指導 保護者アンケートへの回答にご協力いただき、ありがとうございました。性に関する悩みや質問、疑問など、保護者のみなさまのさまざまな意見や悩みを知らることができました。お聞かせいただき、本当にありがとうございました。

現在、いただいたアンケート結果と、日頃の学校での実施把握をもとに、各担任・担当で「性に関する指導 個人重点目標」を作成しています。

『性に関する指導 個人重点目標』については、9月中旬までに、保護者のみなさまに配付いたしますので、目を通していただきますよう、よろしくお願いいたします。

また、目標達成に向けてどのようなことができるのか、具体的な手立てについても、各担任・担当、学級団、養護教諭など、チームで検討しています。今後、保護者のみなさまにも、お子様の目標達成のため、ご家庭でご協力いただくこともありますが、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

全県性教育研究会にお加えできました。

8月4日～5日に、熊本県で開催された、第51回全県性教育研究会に参加しました。

大会では、
「様々な性の課題を質的に乗り越え、豊かに生きていくための性教育～性に関する様々な発達課題及び時代の課題を性教育の実践でどう扱うか～」という基本テーマのもと、さまざまな視点から見た現代の性教育に関する講演や、発達段階、課題別の分科会等が行われました。

本研究会大会、および全県性教育研究会に関する詳しい情報は、以下のQRコードよりご覧いただけます。

ココカラだよりの今後のよりよい運営のために、ご承諾を提出のお願いです。

『ココカラだより 年次報告書』の提出にご協力をお願いします。

※承諾いただいた後、お子様の写真がココカラだより(本紙)に掲載されない場合もあります。あらかじめご了承ください。

★締め切り：9月8日(金)

★提出先：各担任まで

『性に関する指導』へお加えください。

「ココカラだより」の今後、性に関する指導の「性」、適性の「性」…。ここから大切にし、自分らしく生きてください。

先日の全県性教育研究会で、助産師さんが言われた言葉が、とても印象に残っています。ますます情報化、複雑化、そして多様化していくであろう、これからの社会。そんな時代であっても、子どもたちが自分らしく、たくましく生きていくために、保護者のみなさまと一緒に、性教育に取り組んでいきたいと思っています。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

2 目的と役割

特に取組の主軸となる「性に関する指導 個人重点目標シート」および「性に関する指導 つながる振り返りシート」について、その目的と役割を解説する前に、まず、「性に関する指導 個人重点目標」について概説しておく。

「性に関する指導 個人重点目標」は、第1章第2節2で触れたとおり、本校の性に関する指導における個に応じた学びをより充実させるために生まれた。そもそも、学びの充実のためには、児童生徒一人ひとりの性に関する課題等の実態を把握することと、実態把握を踏まえた適切な目標設定が必要である。その際、目標は担任一人の思いで決めるのではなく、学級や学部、養護教諭等と連携し、複数の視点で子どもの実態や発達を見取りながら進めていくことが望ましい。そして、指導上の留意点（表2参照）を踏まえると、取組を進めるうえで、保護者の存在は欠かせないであろう。このように、「性に関する指導 個人重点目標」は、「性に関する指導において、その児童生徒が特に重点を置いて取り組みたい目標そのもの」であり、その主眼は、「複数の教員で子どもを見取り、チームで共通理解を図りながら目標の達成を目指すこと」および、「保護者の思いに寄り添い、理解を得ながら取組を進めていくこと」である。

以上の経緯より、各学部の様式で「性に関する指導 保護者アンケート」を作成・配布し、その回答結果から、①保護者の思いや考えがどのようなものなのかを把握した。そして各担任が、その保護者の思いと、②担任として日頃の実態把握で得た情報とですり合わせを行いながら目標を作成した。また、目標を立てて終わりにならないように、③目標達成に向けた具体的な手立てについても検討を行った。

そして、以上に述べた①～③および下記④について書き記していき、一枚の用紙に整理したものが、「性に関する指導 個人重点目標シート」（以下、目標シート）である。目標シートにはそれぞれの記入欄を設けており、完成したシートを読むと、なぜその目標設定に至ったのか、その目標達成に向けてどのように取り組むのかが一目で分かるようになっている。しかしながら、③については課題もあった。それは、手立てを検討するにあたり、方向性や有効性について教員側の疑問や不安が生じる可能性があることである。そのような疑問等は、教員一人で抱えるのではなく共有し、お互いに考え合うことで、よりよい手段を模索していくことが望ましい。そのために、目標シートには④教員側の悩みを記述するための記入欄も設けている。

以上①～④までの記入を終えたのちは、次の手順で進めていく。まず、保護者アンケートの結果と照らし合わせながら、各学級でシートの内容について確認する。次に、学部の教員に養護教諭を交えたチーム体制で同様に確認を行い、助言や意見を収集する。その後は一度目標シートを記入者に返却し、助言等をもとに必要に応じて内容の加筆修正を行う。そして、各学部主事が内容を再確認したのち、教頭、校長までシートを回覧し、決済が通った場合、設定した目標を明記した用紙を保護者に配布する。この用紙には、「性に関する指導 保護者アンケート」の裏面を活用した。このことにより、保護者が目標を読んだときに、自身の思いが目標に反映されているかどうか確認ができるように配慮した。そして、内容を快諾いただけたときには署名をもらい、児童生徒を通して担任へ返却する。この一連の流れを終え、「性に関する指導 個人重点目標」が完成となる。

次に、「性に関する学習 つながる振り返りシート」（以下、振り返りシート）について解説する。これは、本校中学部内で今年度研究の一環として試験的に運用を始めたワークシートである。振り返りシートの目的は、「生徒・教員・保護者が学習内容を共有すること」と、「性に関する指導で勉強した内容を蓄積し、生徒自身の振り返りや、今後の引継ぎに活用すること」である。記述欄は大別して「今日のテーマ」、「勉強したことや授業の感想」、「学習の様子のお知らせ」、「家庭からのコメント」の4つであり、それぞれ記述者が異なる。具体的には、「今日のテーマ」および「勉強したことや授業の感想」の記入欄は生徒自身が、場合によっては教員が担当し、学習内容やキーワードを書き記す。「学習の様子のお知らせ」の欄に関しては、その時間にその生徒の様子をそばで見ていた教員が担当する。ポイントは、保護者が読んだときに、授業や生徒の様子が目に浮かぶような記述を心がけること、(例えば、この活動のときにこのような反応をしていました、このような発言がありました、など)と、肯定的な表現で伝えること、である。以上の欄まで埋めたら、一旦家庭に持ち帰ってもらう。そして、保護者の意見や感想、あるいは家庭で工夫して取り組んでいることについて「家庭より」の欄に記してもらい、担任が再回収する。

3 活用の事例

以下より、目標シートについて、実際に作成・活用した事例を紹介する。

資料 14 活用事例①

記入者名 ()	
性に関する指導 個人重点目標シート	
個人重点目標	氏名 ()
・自分がかげがえのない存在であることを知り、望ましい生活習慣を身に付ける。 ・友だちや周りの人を大切にすること。	
保護者、担任・担当の思い、目標設定の意図等 (※自由記述)	
アンケートや懇談時の話などから保護者は着替えや身支度等に時間がかかることや人への過剰な身体接触をしてしまうことに悩んでいた。学校内でも共通の課題であり、より望ましい行動への指導・支援をしていく必要性を感じているため、上記のように目標を設定した。	
個人重点目標達成に向けた手だて (※自由記述)	
※担任・担当者として、目標達成に向けてどのような手だてで進めていくか、その方向性を記入してください。 ①保護者との密接なやりとりや児童デイサービスでの様子などの情報を収集し、実態と理由を把握する。 ②①に基づき「大切な体」「身だしなみ」「大きくなる体」等の性に関する学習を設定する。視覚的に捉えやすい教材や望ましい行動を自己選択、決定しながら学ぶ活動を取り入れる。意識するポイントと絵や写真で示し、日常生活で活用しながら継続して指導・支援を行う。 ③進歩、成長した点を称賛したり提示物で示したりして自己肯定感を高める。	
その他 (※自由記述)	
※目標達成に向けた取組を進める上で、担任・担当者としての不安や悩み、要望等があれば、ご自由に記述してください。 音声言語による意思の伝達に課題のある本児にとっては身体接触がコミュニケーション手段の一つであるので、他の望ましいかわり方や多様な伝達方法、表情の理解等も進めていく必要がある。また、支援の方向性を統一するために学級、学部に限らず校内全体での共通理解が求められる。	
ありがとうございました。 月 日 () までに、 にご提出ください。	

資料 15 活用事例②

記入者名 ()	
性に関する指導 個人重点目標シート	
個人重点目標	氏名 ()
◎自分や友だちの体の成長について正しく理解する。 ◎相手とのかかわりにおいて、マナーやルールを守った行動ができる。	
保護者、担任・担当の思い、目標設定の意図等 (※自由記述)	
アンケート結果や懇談等の相談より、保護者は本児の人とのかかわり方(相手の同意なく顔や身体に触れる)、トイレや着替えの際のマナー(遠くから下着を下げてそのままトイレに入る、下着のまま室内を歩き回る)などの行動への対処法に悩んでいた。学校でも同様なことがあるため、目標を上記のように設定した。	
個人重点目標達成に向けた手だて (※自由記述)	
※担任・担当者として、目標達成に向けてどのような手だてで進めていくか、その方向性を記入してください。 ①保護者と連絡帳等で通じたやりとりをしたり、行動を注意深く見守ったりして実態と行動の理由を明らかにする。 ②性に関する学習の時間に「トイレの使い方」「身だしなみ」「大きくなる体」「性別」について具体的に学ぶ場を設定し、日常生活においても繰り返し指導をする。学習の際は視覚的に捉えやすい教材を提示するとともに、望ましい行動を自己選択する活動も多く取り入れる。 ③目標とする行動に近づいていることを見取り、称賛することで定着を図る。	
その他 (※自由記述)	
※目標達成に向けた取組を進める上で、担任・担当者としての不安や悩み、要望等があれば、ご自由に記述してください。 本児にとってスキンシップは他者とのかわりの自発的な行動であるためむげに制止するのではなく、代替行動に置き換えていきたいと考えているが、そのバランスをどう考えて接していくべきか悩むところである。	
ありがとうございました。 月 日 () までに、 にご提出ください。	

資料 16 活用事例③

記入者名 ()	
性に関する指導 個人重点目標シート	
個人重点目標	氏名 ()
・清潔や衛生を保つことの大切さを理解し、手洗い等一人でできることを身に付ける。 ・自分の気持ちや情緒をコントロールして変化する状況に対応する力を養う。	
保護者、担任・担当の思い、目標設定の意図等 (※自由記述)	
生活のリズムや生活習慣の形成のために、1 日の生活状況をしっかり把握していきたい。家庭では、覚醒と睡眠のリズム、学校では給食及び水分摂取の時間や回数、量、接種時の姿勢や救助の方法、排泄の時間等、回数、方法、排泄のサインの有無についてしっかり見て、健康・安全な学校生活を送ることができるよう支援していきたい。	
個人重点目標達成に向けた手だて (※自由記述)	
※担任・担当者として、目標達成に向けてどのような手だてで進めていくか、その方向性を記入してください。 生活環境など様々な要因から心理的に緊張したり、不安になったりする状況が継続し、集団に参加することが難しくなることがある。このような場合は環境的な要因が心理面に大きく関係していることも考えられるので、家庭としっかり連携しながら睡眠、生活のリズム、体調、天気、家庭生活、人間関係など、その要因を明らかにし、情緒の安定を図ることができるよう、環境改善に努める。	
その他 (※自由記述)	
※目標達成に向けた取組を進める上で、担任・担当者としての不安や悩み、要望等があれば、ご自由に記述してください。 自分の行動を注意されたときに反発して興奮を静められなくなることがある。このような場合には、自分を落ち着かせることができる場所に移動して、その興奮を静められることやいったんその場を離れて深呼吸などの方法があることを教え、それを実践に行うことができるようにしていきたい。	
ありがとうございました。 月 日 () までに、 にご提出ください。	

資料 17 活用事例④

記入者名 ()	
性に関する指導 個人重点目標シート	
個人重点目標	氏名 ()
自分の成長に気付くとともに、自分や友だちを大切にしようと思えることができる。	
保護者、担任・担当の思い、目標設定の意図等 (※自由記述)	
保護者のアンケートでは1 番目の項目には「大切な体」内容では「自分の成長に気付く」2 番目の項目には「大人になる心」があげられている。担任としては体の成長に気付き、心も徐々に大人になっていることを知ってほしい。また、自己肯定感を高め、自分に自信をもってほしい。さらに学校や家庭等の社会において、自分の役割や責任も理解してほしいと思っている。	
個人重点目標達成に向けた手だて (※自由記述)	
※担任・担当者として、目標達成に向けてどのような手だてで進めていくか、その方向性を記入してください。 ・保護者とは個人懇談会や毎日のお便りにて連絡を密にしている。 ・体が急激に成長している。身長や体重等、体の成長した様子を実際の長さや長さ、写真等で理解できるように示すようにしたい。また、周りの友達も一緒に成長していることも知らせる。加えて、成長には個人差や男女差があることも知ってほしい。 ・そのうえで、心も共に成長していることも自覚し、「人が自分と違う行動をする、違った考えをもつ」など、自分以外の人にも目を向けて、かわりを楽しみながら生活してほしいと考える。 ・授業では、活動や役割分担等、友達とかわる場面を多く仕組む。 ・人がかわるにはトラブルもあると思われるが、生徒同士で解決できるように見守ることも大切だと考える。	
その他 (※自由記述)	
※目標達成に向けた取組を進める上で、担任・担当者としての不安や悩み、要望等があれば、ご自由に記述してください。 体の成長について、担任とはいえ、異性の教員には話したくないことや見られたくないことが多々あると想像できる。そこで、同性の教員にもさまざまな面で協力をお願いしたい。	
ありがとうございました。 月 日 () までに、 にご提出ください。	

資料 18 活用事例⑤

記入者名 ()	
性に関する指導 個人重点目標シート	
年 組	氏名 ()
個人重点目標	
良好な対人関係を築くために、自分や相手のことを大切にすることや、自分と相手にとって心地よい距離感で接することが大切であるということを理解する。	
保護者、担任・担当の思い、目標設定の意図等 (※自由記述)	
保護者アンケートにおいて「人とかかわり」の欄に優先順位 1 番の記入があり、またその中の項目の「他者との心地よいかわり」に印があった。本人は誰に対しても分け隔てなく接し、その距離感が性別関係なく近いので、誤解が生じる可能性もある。そのため、対人関係における適切な距離の取り方を理解させたい。	
個人重点目標達成に向けた手だて (※自由記述)	
※担任・担当者として、目標達成に向けてどのような手だてで進めていくか、その方向性を記入してください。 パーソナルスペースについて、パワーポイントや動画を活用しながら説明をし、実際にロールプレイ等で実践しながら体験する。また「尊重」とは、どういうことかを模範から広義に渡り考えさせ、パワーポイントや動画を見たり、具体例を挙げたりすることで対人関係を結ぶことの理解を深めていく。 本人は、距離が近いことに対して不快感をもつこととあまりないため、どうすれば実感できるのか、スクールカウンセラーに相談し助言を求めた。 《スクールカウンセラーのアドバイスより》 …目をつむった状態で、後ろから近づき反応をみる。鳥肌や「ソワソワ」した気持ちになったところで手を挙げさせる。その身体の反応が、他の人では「不快感」になるのだと説明する。	
その他 (※自由記述)	
※目標達成に向けた取組を進める上で、担任・担当者としての不安や悩み、要望等があれば、ご自由に記述してください。 実態差や人数等の理由から、学級対応で授業を進めていくことに難しさを感じている。それぞれの感じ方や考え方の違いを知ることができ、有効だと思うのだが、現時点では仕方がないことだと思っている。よい考えがあれば知りたい。	
ありがとうございました。 月 日 () までに、 にご提出ください。	

資料 19 活用事例⑥

記入者名 ()	
性に関する指導 個人重点目標シート	
年 組	氏名 ()
個人重点目標	
性感染症等に関する正しい知識を習得したり、性に関する情報への対処の方法について学習したりすることにより、性被害から身を守ることへの意識をもつ。	
保護者、担任・担当の思い、目標設定の意図等 (※自由記述)	
アンケート結果より、保護者は女性としての大切な体(月経、妊娠、出産等)の知識とともに、卒業後を見据えて性被害防止や性情報への対処の仕方等を学んでほしいと思っていることが分かった。そういった思いに寄り添うために目標を上記のように設定した。	
個人重点目標達成に向けた手だて (※自由記述)	
・今までの「性」に関する指導内容についての記録を見直して、復習的に理解度チェックができるようなワークシートを準備する。 ・話しやすい雰囲気づくりを大切に、自分が気になっていることや分からないことを出しやすい環境設定をこころがける。 ・情報機器の扱いにも慣れていて、ネットでの情報を得ることも可能ではあるが、すべて正しい情報とは限らないことや、興味本位からの行為が法律に触れる場合もあることを具体的に知らせていく。	
その他 (※自由記述)	
・「性」に関する指導は、積み重ねと同じ歩調での指導が重要だと思っています。個別の重点目標についての共通理解というか、情報共有が必要かと思えます。発達段階に応じた指導や個別の指導ではありますが、個に応じた「性」についての指導は、学年団での共通理解を図ることが必要ではないでしょうか？ ・保健や家庭科で「性」に関連した学習内容はどの程度取り扱われているのかを知りたいです。	
ありがとうございました。 月 日 () までに、 にご提出ください。	

第4節 研究授業および研究協議

1 研究授業

ココラプロジェクトおよび「生命（いのち）の安全教育」の研究として、中学部生徒数名を対象に研究授業を行った。実際に使用した指導案およびワークシート、スライド資料等について、資料20～79のとおり紹介する。

資料20

中学部 性に関する学習 生命の安全教育②

スペシャルホームワーク

名前 _____

質問1 あなたの たからもの を教えてください。

質問2 私たちは、だれでもみんな 赤ちゃんのころから ふたつのたからもの をもっています。それは何と何でしょう？

質問2の答えは、
12月6日（水）2時間目の授業で発表するよ！

資料21

中学部 性に関する指導 学習指導案

1. 題材名 「性に関する学習 生命の安全教育② ～大切なところからを守るために～」

2. 本時の学習

(1) わらい
生命の安全を守るために大切な知識について、個人やグループで考えながら学びを深める。

(2) 準備
「生命（いのち）の安全教育②～大切なところからを守るために～」スライド、テレビ、動画教材、生徒用授業後アンケート用紙、教師用授業後アンケート用紙、事前課題（予備）、タブレット型端末（教師用）、ホワイトボード、マーカー、タイマー、相談カード（封筒に入れておく）

(3) 展開

活動	スライド	主な学習活動・内容 (○)	支援 (●)、留意点 (◎)	時間
挨拶	①	○考えをかける。	●<T1>生徒が集中できていない場合には、全体へ声かけをして注目を促す。	導入（15分）
復習	②	○今までの性に関する学習を振り返る。	●<T2～T5>生徒が集中できていない場合は、T1に注目するように促す。	
グループ分け	③	○3つのグループをつくる。 ○グループでの話し合い活動における約束事について確認する。	◎<T1>グループは、生徒同士の人間関係を考慮し、スムーズな話し合いをすることができそうな組合せにしておく。 ●<T2～T5>各グループにつき、生徒の様子を観察したり、声かけをしたりしつつ、話し合いに参加する。 ●<T2～T5>発言が難しい生徒に対しては丁寧に対応し、教師が仲介役や代弁者となる。	導入（15分）

資料22

活動理解	①	○今日の夜を振り返る。	●<T1>今日の夜はいつでも確認することができるよう、予め板書しておく。	導入（15分）
宿題の確認	⑤	○1つ目の宿題の回答について、グループ内で共有する。	●<T1>宿題が手元にあるか確認する。もし忘れた生徒がいた場合には、予備のプリントを手渡し、その場で記入するように促す。 ●<T2～T5>話し合いに参加しつつ、生徒同士をつないだり、意見を引き出したりするような声かけをする。 ●<T2～T5>英語や音楽での表現が難しい生徒に対しては個別に対応を行い、聞き取りや身振り、ジェスチャー、絵カード等を使って本人の思いを代弁する。	
	⑥	○たからものとはどんなものなのか、について考える。	●<T1>生徒の様子をうかがいつつ、必要に応じて質問を投げかけたり、補足説明したりしながら話を進める。	
	⑦	○たからものとはどんなものなのか、について確認する。	●<T2～T5>生徒が集中できていない場合は、T1に注目するように促す。	
	⑧	○もし、たからものが誰かに勝手に触られたり、とられたり、壊されたりしたらどう思うか、について考える。		

資料23

宿題の確認	②	 もし、たからものが誰かに勝手に触られたり、とられたり、壊されたりしたら、怒ったり、悲しくなったり、泣いたり...と、"いやな気持ちになる"ことを確認する。	導入（15分）	
	③	 自分のたからものを大切にすることと同様に、相手のたからものも大切にしないといけないことを確認する。		
	④	 2つ目の宿題の回答内容について、グループで話し合う。		●<T2～T5>話し合いに参加しつつ、生徒同士をつないだり、意見を引き出したりするような声かけをする。 ●<T2～T5>英語や音楽での表現が難しい生徒に対しては個別に対応を行い、身振りやジェスチャー、絵カード等を使い、本人の思いを聞き取って代弁する。
	⑤	 当ではまる言葉は「ここ」と「からだ」であることを確認する。		●<T1>わたしたちはみんなこことからだを守るための「権利」をもっていることについても触れる。 ●<T1>答えの発表の際は、この答えはあくまで一例であり、生徒それぞれが考えてきた答えも正解の一つであることを補足説明しておく。
	⑥	 自分のこことからだを大切にすることと同様に、誰かのこことからだも大切にしないといけないことを確認する。		●<T1>生徒の様子をうかがいつつ、必要に応じて質問を投げかけたり、補足説明したりしながら話を進める。

資料 24

目標 1 について	①	○自分のことだからだ、だれかのところからだを大切にするためにできることは何なのか、について疑問をもつ。	●<T2～T5>生徒が集中できていない場合は、T1に注目するように促す。
	②	○今日の目標その1について、空欄に当てはまる言葉を考えながら確認する。	
	③	○今から考えていくことについて再度確認する。	
	④	○自分のことだからだが傷ついてしまうときはどんなときなのか、グループで話し合う。	●<T1>ヒントカードを準備しておき、なかなか自分の意見が出ないグループには配布を行う。
	⑤	○自分のことだからだが傷ついてしまうときはどんなときか、について確認する。	●<T1>「性暴力」や「性被害」という言葉についても説明しておく。
	⑥	○「自分のことだからだを大切にするためにできることは何なのか」について、改めて考える。	●<T2～T5>生徒が集中できていない場合は、T1に注目するように促す。
目標 2 について	⑦	○ソーシャルストーリー「まもうろう！ところからだ」を聞く。	●<T1>生徒の様子をうかがいつつ、必要に応じて質問を投げかけたり、補足説明したりしながら話を進める。
	⑧	○「自分のことだからだを大切にするためにできることは何なのか」について、改めて考える。	●<T2～T5>生徒が集中できていない場合は、T1に注目するように促す。
	⑨	○「自分のことだからだを大切にするためにできることは何なのか」について、改めて考える。	

4

資料 25

目標 1 について	①	○自分のことだからだを大切にしたい、についてグループで話し合う。(3分)	●<T2～T5>タイマーをセットする。(3分)
	②		●<T2～T5>話し合いに参加しつつ、生徒同士をつないだり、意見を引き出したりするような声かけをする。
	③		●<T2～T5>発語や言葉での表現が難しい生徒に対しては個別に対応を行い、身振りやジェスチャー、絵カード等を使い、本人の思いを聞き取って代弁する。
	④	○グループごとに発表する。	●<T1>ヒントカードを準備しておき、なかなか自分の意見が出ないグループには配布を行う。
	⑤	○T1の話を聞く。	●<T1>生徒の発言を板書する。
	⑥	○自分のことだからだを大切にするためにできる3つのことについて確認する。	●<T2～T5>発語や言葉での表現が難しい生徒に対しては個別に対応を行い、身振りやジェスチャー、絵カード等を使い、本人の思いを聞き取って代弁する。
目標 2 について	⑦		●<T1>生徒の様子をうかがいつつ、必要に応じて質問を投げかけたり、補足説明したりしながら話を進める。
	⑧		●<T2～T5>生徒が集中できていない場合は、T1に注目するように促す。
	⑨		

5

資料 26

目標 1 について	①	○「距離をとること＝はなれること」について、空欄に当てはまる言葉を考えながら確認する。	
	②	○「拒否をすること＝「いや」と伝えること」について、空欄に当てはまる言葉を考えながら確認する。	
	③	○「相談すること＝「助けて」ということ」について、空欄に当てはまる言葉を考えながら確認する。	
	④	○以上の3つの大切なことについてもう一度確認する。	
	⑤	○質問について、各自で考える。	●<T1>自分や相手の性別は関係ないことを補足する。
	⑥	○今日の目標その1について、空欄に当てはまる言葉を考えながら確認する。	●<T1>生徒の様子をうかがいつつ、必要に応じて質問を投げかけたり、補足説明したりしながら話を進める。
目標 2 について	⑦	○ソーシャルストーリー「すきなこと もっとなかよくなるには」を聞く。	●<T2～T5>生徒が集中できていない場合は、T1に注目するように促す。
	⑧		
	⑨	○AさんとBさんそれぞれはどんな気持ちだったのか、グループで考える。	●<T2～T5>タイマーをセットする。(3分)

6

資料 27

目標 2 について	①		をつないだり、意見を引き出したりするような声かけをする。
	②	○グループごとに発表する。	●<T2～T>発語や言葉での表現が難しい生徒に対しては個別に対応を行い、身振りやジェスチャー、絵カード等を使い、本人の思いを聞き取って代弁する。
	③	○からだの距離は近づいたが、この距離は遠くなったことを理解する。	●<T1>生徒の発言を板書する。
	④	○Aさんはどのような行動をとればよかったのか、グループで話し合う。(3分)	●<T2～T5>タイマーをセットする。(3分)
	⑤		●<T2～T5>話し合いに参加しつつ、生徒同士をつないだり、意見を引き出したりするような声かけをする。
	⑥		●<T2～T5>発語や言葉での表現が難しい生徒に対しては個別に対応を行い、身振りやジェスチャー、絵カード等を使い、本人の思いを聞き取って代弁する。

7

資料 28

目標 2 について	⑨	○グループごとに発表する。	●<T1>生徒の発言をスライドに記録する。 ●<T2～T5>発問や言葉での表現が難しい生徒に対しては個別に対応を行い、身振りやジェスチャー、絵カード等を使い、本人の思いを聞き取って代弁する。	展開 (30分)
	⑩	○お話を聞きながら聞く。	●<T1>生徒の様子をうかがいつつ、必要に応じて質問を投げかけたり、補足説明したりしながら話を進める。 ●<T2～T5>生徒が集中できていない場合は、T1に注目するように促す。	
	⑪	○「許可をとること＝「いいよ」をもらうこと」と、「相手の気持ちを受け入れること」が大切であると確認する。		
	⑫	○「許可をとること＝「いいよ」をもらうこと」と、「相手の気持ちを受け入れること」について、空欄に当てはまる言葉を考えながら確認する。		
	⑬	○許可についてもう一度確認する。		
本時のまとめ	⑭	○今日の目標その1について再確認する。		終末 (5分)
	⑮	○ここからからだを大切にするためにできる3つのことについて再確認する。		
	⑯	○今日の目標その2について再確認する。		

8

資料 29

本時のまとめ	⑨	○好きな人ともっとなよくなるためのコツについて再確認する。		終末 (5分)
補足説明	⑩	○例外ケースもあることを確認する。	●<T1>大切なことは「困ったときは大人に相談すること」であると説明する。	
挨拶	⑪	○アンケートを記入する。 ○T1から封筒を受け取る。 ○号金をかける。	●<T2～T5>書きが難しい生徒に対しては、教師が質問内容を丁寧に問いかけながら本人の思いを代筆する。	

(4) 板書計画

性に関する学習 生命の安全教育 ～大切なこととからだを守るために～ 今日の目標 その1 自分のからだを守るために大切なことを3つに挙げる。 今日の目標 その2 好きな人とよりよくなるためのコツを知る。		距離をとる ＝「はなれる」 断るをする ＝「いや」と伝える 拒否をする ＝「断けて」と伝える	今日の流れ 1. グループをつくる 2. 復習の確認をする 3. 今日の目標について知る 4. グループで考える、話し合う① 5. グループで考える、話し合う② 6. まとめ 7. アンケートに答える
---	--	---	---

(5) 主眼

知識及び技能	思考力、判断力、表現力	学びに向かう力、人間性
アンケートに記載してある問題に正しく答えることができる。	自分の考えを表現したり、友達の見解を聞いたりすることができる。	興味・関心をもって教師の話を聞くなど、意欲的な態度で活動に参加することができる。

(6) 評価

生徒の活動について	主眼は達成されたか。
本題材について	主眼の設定は適切であったか。 題材の設定は適切であったか。
教師の支援について	支援の内容は適切であったか。 支援の量は適切であったか。

9

資料 30

R5 1206 生命の安全教育

性に関する学習 生命の安全教育 ～大切なこととからだを守るために～ 授業後アンケート

名前 _____

1. 次の文章を読んで、 の中にあてはまる言葉を、 の中から選びましょう。
※数字を書いてもかまいません。

自分のこととからだを大切にするためにできることは、
 ことと、 ことと、
それから ことです。

① 距離をとる (＝はなれる) ② いつもお家の人や先生と一緒に過ごす
③ 相談する (＝「断けて」と伝える)
④ 友だちとよくなる ⑤ 拒否をする (＝「いや」と伝える)

2. 次の文章を読んで、 の中にあてはまる言葉を、 の中から選びましょう。
※数字を書いてもかまいません。

好きな人と もっとなよくなるためには、
 ことと、
それから ことが大切です。

① 自分の気持ちだけを考え、好きな人にたくさん話しかけたり、くっついりする。
② 自分の気持ちだけでなく、相手の気持ちも考え、「～していい？」と許可をとる。
③ 相手に「いや」と断られても、自分の気持ちだけを考え、話しかけたり、くっついりする。
④ 相手に「いや」と断られたら、「わかった」と言って、相手の気持ちを受け入れる。

資料 31

R5 1206 生命の安全教育

3. 今日の授業の内容はわかりましたか。あてはまるもの の中に○を書きましょう。

よくわかった わかった あまりわからなかった まったくわからなかった

4. 今日の授業について、わかったことをひとつ書きましょう。たくさん書いてかまいません。

5. 今日の授業の感想を自由に書きましょう。

しめ切り 12月8日(金)
提出先 原先生まで

資料 32

①

せい かん がくしゅう
性に関する学習

いのち あんぜんきょういく
生命の安全教育

～たいせつなところからだを守(まも)るために～

日 時 令和5年 12月6日(水)
2校時 9:40～10:30

場 所 萩総合支援学校 会議室

資料 33

②

学習(がくしゅう)を振(ふ)り返(かえ)ろう

- ① 9月25日(月)
◆ 大切な体
◆ プライベートゾーン
- ② 10月4日(水)
◆ 大切な体②
◆ 男女の違い
- ③ 10月11日(水)
◆ 大切な体③
◆ 男女の違い②
- ② 10月23日(月)
◆ 人のかかわり
◆ 生命の安全教育
- ③ 12月6日(水)
◆ 人のかかわり
◆ 生命の安全教育②

資料 34

③

グループを作(つく)りましょう

話(はな)し合(あ)いの約束(やくそく)

1. ていねいな言葉(ことば)を使(つか)って話(はな)そう。
2. おたがいのことは「〇〇さん」と呼(よ)び合(あ)おう。
3. 他(ほか)の人(ひと)が、自分(じぶん)とはちがう意見(いけん)や考(かんが)えでも、否定(ひてい)せず認(みと)め合(あ)おう。

資料 35

④

今日(きょう)の流(なが)れ

1. グループをつくる
2. 宿題(しゅくだい)の確認(かくにん)をする
3. 今日(きょう)の目標(もくひょう)について知(し)る
4. グループで考(かんが)える、話(はな)し合(あ)う①
5. グループで考(かんが)える、話(はな)し合(あ)う②
6. まとめ
7. アンケートに答(こた)える

資料 36

⑤

宿題(しゅくだい)

あなたの たからものを 教(おし)えてください。

自分(じぶん)の答(こた)えを
グループで伝(つた)え合(あ)おう

資料 37

⑥

質問(しつもん)

そもそも…
たからものって どんなもの?

資料 38

⑦

質問(しつもん) たからものって どんなもの?

共通(きょうつう)するのは…
“とてもたいせつなもの”
だということ!

だれかから
もらったもの

自分(じぶん)で
買(か)ったもの、
つくったもの

目(め)には
見(み)えない
思(おも)い出(で)

資料 39

⑧

質問(しつもん)

もし… みんなの たからものが
だれかに 勝手(かって)にさわられたり、
とられたり、
こわされたりしたら どう思(おも)う?

資料 40

⑨

質問 (しつもん) もし… みんなの たからものが
だれかに 勝手 (かって) にさわられたり、
とられたり、こわされたりしたら どう思 (おも) う？



おこる、
むかつく

かなしい、
泣く

共通 (きょうつう) するのは…
“いやなきもちになる”
だということ！

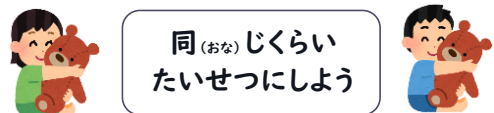
資料 41

⑩

自分 (じぶん) の たからものは
自分 (じぶん) にとって たいせつなもの

だれかの たからものは
だれかにとって たいせつなもの
だから

同 (おな) じくらい
たいせつにしよう



資料 42

⑪

宿題 (しゅくだい)
わたしたちは みんな あかちゃんのころから
ふたつの たからもの をもっています。

それは 何 (なに) と何 (なに) でしょう？

自分 (じぶん) の 答 (こた) えを
グループで伝 (つた) え合 (あ) おう



資料 43

⑫

それは… **こころ** と **からだ** です。

わたしたちは、みんな うまれたときから
こころ と **からだ** というたからもの、



それから、ふたつの たからものをまもるための
権利 (けんり) を もっています。

資料 44

⑬

自分 (じぶん) の こころとからだは
自分 (じぶん) にとって たいせつなたからもの

だれかの こころとからだは
だれかにとって たいせつなたからもの
だから

同 (おな) じくらい
たいせつに しよう。



資料 45

⑭

自分 (じぶん) の こころとからだは
自分 (じぶん) にとって たいせつなたからもの
だれかの こころとからだは
だれかにとって たいせつなたからもの
だから

同 (おな) じくらい たいせつに しよう。

自分 (じぶん) の こころとからだ、
だれかの こころとからだを
たいせつにするために
できることはなんだろう？



資料 46

⑮

今日 (きょう) の目標 (もくひょう) その1

自分 (じぶん) の たからものである

こころ と **からだ** を
たいせつにする ために

3
まもう！
こころとからだ

できることはなにか 知 (し) ろう。



資料 47

⑯

自分 (じぶん) のこころとからだを
たいせつにするために
できることって いったいなんだろう？



資料 48

⑪

質問 (しつもん)

自分 (じぶん) の ところやからだ が
傷 (きず) ついてしまうと きって
どんなとき?

グループで 話 (はな) し合 (あ) ってみよう



資料 49

⑫

質問 (しつもん)

自分 (じぶん) の ところやからだ が
傷 (きず) ついてしまうと きって
どんなとき?

性暴力
(せいぼうりょく)



資料 50

⑬

質問 (しつもん)

自分 (じぶん) のところとからだを
たいせつにするために
できることって いっぱいなんだろう?

グループで 話 (はな) し合 (あ) ってみよう



資料 51

⑭

お話 (はなし) を聞 (き) きましょう



資料 52

⑮

あなたの ところとからだは
あなただけの たいせつなからものです。



あなたは いろんなひとの とくべつで
たいせつな たちからものです。

あなたは いろんなひとから
あいされています。



あなたの ところとからだ がげんきだと
あなたをあいしてくれるひとたちは
とてもうれしくなります。

資料 53

⑯



ところが、もしも
あなたの たいせつな ところとからだに
わるいことをしようと
あなたを ねらうひとがあらわれて...



あなたの たいせつなからだを
さわろうとしてきたら...?

資料 54

⑰

質問 (しつもん)

こんなとき どうしたらいい?

3分



ところが、なんと、
あなたの たいせつな ところとからだに
わるいことをしようと
あなたを ねらうひとがあらわれて...



あなたの たいせつなからだを
さわろうとしてきたら...?

グループで 話 (はな) し合 (あ) ってみよう



資料 55

⑱

質問 (しつもん)

こんなとき どうしたらいい?



資料 56

25

まだ からだをさわられていなくても、
こわかったり いやなきもちだったら、
おごえをだして すぐに にげましょう。

そして、あなたをまもってくれる
おとなにたすけをもとめましょう。



資料 57

26

自分 (じぶん) のところとからだを
大切 (たいせつ) にするためにできること



距離 (きょり) をとる

と

拒否 (きょひ) をする

と

相談 (そうだん) する



資料 58

27

「距離 (きょり) 」をとる
= はなれる



自分 (じぶん) の ところとからだは

自分 (じぶん) だけのもの です。

だれかとの 距離 (きょり) は

自分 (じぶん) で 決 (き) めることができます。

いやと思 (おも) ったら、すぐにはなれてきょりをとりましょう。

資料 59

28

「拒否 (きょひ) 」する
= 「いや」と伝える



自分 (じぶん) が「いやだ」と感 (かん) じたのなら、

「いやだ」と はっきり 言 (い) ってよいです。

相手 (あいて) が「いやだ」と言 (い) ったら、

相手 (あいて) のきもちを受 (う) け入 (い) れましょう。

「いや」を伝 (つた) えましょう そして 受 (う) け入 (い) れましょう

資料 60

29

「相談 (そうだん) 」する
= 「たすけて」と言う



ところやからだを傷 (きず) つけられて
いやなきもちになったときは

あなたのまわりの 信頼 (しんらい) できる大人 (おとな) に

相談 (そうだん) しましょう。

おうちの人 (ひと)、先生 (せんせい)、警察 (けいさつ)、

電話相談 (でんわそうだん) (#8891) …、

あなたを 助 (たす) けてくれる大人 (おとな) はたくさんいます。

ひとりで悩 (なや) まずに 助 (たす) けをもとめよう。

資料 61

30

まとめ 自分 (じぶん) のところとからだを
大切 (たいせつ) にするためにできること



距離 (きょり) をとる
= はなれる

拒否 (きょひ) をする
= いやと伝 (つた) える



相談 (そうだん) する
= たすけてと伝 (つた) える

資料 62

31

質問 (しつもん)

あなたには **すきな人** がいいますか？

なかよしの 友 (とも) だち…
あこがれの先輩 (せんぱい) …
家族 (かぞく) や先生 (せんせい) …
これからなかよくなりたい人 (ひと) …

その人 (ひと) が男 (おとこ) の人 (ひと) なのか
女 (おんな) の人 (ひと) なのかは
関係 (かんけい) ありません。



資料 63

32

今日 (きょう) の目標 (もくひょう) その2

あなたが **すきな人** と もっと

なかよくなるためのコツ を 知 (し) ろう



資料 64

33

お話(はなし)を聞(き)きましょう

5



すきなこ と もっとなかよくなるには

資料 65

34

AさんとBさんは おともだちです。
Aさんは、Bさんと もっとなかよくなりたいとおもっているみたいです。

わあっ!!!
だいすき~!!!

Aさん Bさん

そこで、Aさんは Bさんとなかよくなるためにこんなことをしました。

「Bさん、だいすき~!」
Aさんは、Bさんに いきなりだきつきました。
「わあっ!!! なに!?!」
Bさんは、びっくりしています。

資料 66

35

質問(しつもん) AさんとBさんのきもちを考(かんが)えてみましょう。 3分

?

Aさん Bさん

グループで 話(はな)し合(あ)ってみよう

資料 67

36

質問(しつもん) AさんとBさんのきもちを考(かんが)えてみましょう。

?

Aさん Bさん

資料 68

37

質問(しつもん) AさんとBさんは なかよくなれたでしょうか?

AさんとBさんは おともだちです。
Aさんは、Bさんと もっとなかよくなりたいとおもっているみたいです。

だいすき~!!!
わあっ!!!

Aさん Bさん

そこで、Aさんは Bさんとなかよくなるためにこんなことをしました。

「Bさん、だいすき~!」
Aさんは、Bさんに いきなりだきつきました。
「わあっ!!! なに!?!」
Bさんは、びっくりしています。

資料 69

38

質問(しつもん) Aさんは どうすればよかったでしょうか? 3分

Aさん Bさん

グループで 話(はな)し合(あ)ってみよう

資料 70

39

質問(しつもん) Aさんは どうすればよかったでしょうか?

Aさん Bさん

?

?

?

資料 71

40

Bさんのところからでは Bさんだけのたいせつな たからものです。

「~してもいい?」と あいてにきいて、「いいよ!」をもらうことが とても たいせつです。

こんど いっしょにあそばない? いいよ!

Aさん Bさん

「Bさんとなかよくなりたい!」という Aさんのところも Aさんだけの たいせつな たからものです。だから...

もし... 「いや」といわれても... あいてのきもちをうけいれて「わかった」といえるようになれば すてきですね。

資料 72

④1

今日の目標 その2

あなたが **すきな人** と もっと

なかよくなるためのコツ を 知(し)ろう

許可(きょか)をとる
= 「いいよ」をもらう

相手(あいて)のきもちを
受(う)け入(い)れる



資料 73

④2

「許可(きょか)」をとる = 「いいよ」をもらう



すきな人(ひと)に 近(ちか)づきたい! さわりたい! と思(おも)うことは、自然(しぜん)なこと。だけど、自分(じぶん)のきもちをおしつけてしまったら、すきな人(ひと)のころやからだを傷(きず)つけるかもしれない。

だから…

相手(あいて)のきもちを考(かんが)えて、**「～していい?」と許可(きょか)**をとろう。

そして…もし、相手(あいて)が「いや」と言(い)ってきたら、相手(あいて)のきもちを受(う)け入(い)れよう。

「いい?」と聞(き)こう、「いいよ」をもらおう

資料 74

④3

まとめ

あなたが **すきな人** と もっと なかよくなるために…

許可(きょか)をとる
= 「いいよ」をもらう

相手(あいて)のきもちを
受(う)け入(い)れる



資料 75

④4

今日(きょう)の目標(もくひょう) その1

じぶんのたいせつな たからものである

こころ と からだ を

たいせつにする ために できることはなにか 知(し)ろう。



距離(きょり)をとる
= はなれる

拒否(きょひ)をする
= いやと伝(つた)える



相談(そうだん)する
= たずねてと伝(つた)える

資料 76

④5

今日(きょう)の目標(もくひょう) その2

あなたが **すきな人** と もっと

なかよくなるためのコツ を 知(し)ろう

許可(きょか)をとる
= 「いいよ」をもらう

相手(あいて)のきもちを
受(う)け入(い)れる



資料 77

④6

ですが…こんな場合(ばあい) だって あります。



電車(でんしゃ)やバスで…



病院(びょういん)で…

「こんなとき どうしたらいいのかな?」 …こまったときは、お家(うち)の人(ひと)や先生(せんせい)に相談(そうだん)しましょう。

資料 78

④7

アンケートに答えてください

今日(きょう)のキーワード

○距離(きょり)をとる

○拒否(きょひ)をする

○相談(そうだん)をする

○許可(きょか)をとる



資料 79

④8

以上(いじょう)で今日(きょう)の
学習(がくしゅう)はおわりです。

2 研究協議

研究協議は、「①授業者の発問や授業の進め方」、「②教材や資料の提示の仕方や工夫、改善点」、「③子どもの変容の把握の方法」、「④学習時の子どもの様子」の視点で意見を交わした。生命（いのち）の安全教育推進委員の皆様や授業参観に来てくださった各学校の先生方等、校内外問わず多くの方々に参加いただいた。

自評および講評の内容については、表 10 のとおりである。

表 10 授業者自評および講評

視点	授業者自評および講評内容	
① 発問 と 進 行	自 評	・生徒への発問数が多く、時間の余裕もなかったため、取捨選択してもよかった。 ・自己表現が苦手な生徒も発言しやすいように、穏やかに話すなどして受容的な雰囲気のまま授業を進めていくことを心掛けた。
	講 評	・発問は、数は多かったが、その分本題に入るまでに段階を踏むことができるように工夫していることが伝わった。生徒の理解につながったと思う。 ・問いかけの仕方、言葉かけの内容がよかった。生徒もリラックスできたのでは。
② 教 材 等 の 提 示	自 評	・教材の提示の際は、スライド資料とホワイトボードの両方を活用したが、そのせいか、授業者がせわしなく動いている印象を与えたのではないかな。そうすると、気が散る要因にもなる。今後は動線を意識した機材等の配置を工夫していきたい。
	講 評	・ホワイトボードを活用してキーワード等の重要情報が授業後にも目に見えて残る形に留めておいたことがとてもよい。 ・忙しそうだと感じたが気になるほどではない。教室環境上、実現が難しいことはある。例えば場所を変えてみるなど、取り組めるところから工夫しては。
③ 変 容 の 把 握	自 評	・変容を把握するための手段として、今回は授業後のワークシートとアンケートの両方を用意した。ワークシートでは、学習内容を理解しているか、アンケートでは、学習内容に興味関心を抱いているか、についてそれぞれ読み取るつもりである。また、振り返りシートを活用し、保護者との情報交換も行う。
	講 評	・ワークシートおよびアンケートに、子どもがこれから何を書くのかが気になる。書かれた内容は、子どもの素直な反応として肯定的に受け止めるとともに、次回の授業に子どもの言葉を取り入れるなどして活用してほしい。 ・変容を把握するためには、複数体制で子どもを見取ること、何が客観的事実なのかをすり合わせる必要がある。そのためには、保護者の協力も必要になる。引き続き振り返りシートを活用することで、家庭での様子をよく伝えてもらうこと。
④ 子 ど も の 様 子	自 評	・性に関する指導は、今年度に入ってから既に 5 回程度学習している。これまでの成果なのか、子どもの発言内容から、学習内容の理解が深まっているように感じた。繰り返し学習することはとても重要であると改めて実感した。
	講 評	・子どもが、身を乗り出して授業者の書き記した言葉を見ようとしている姿に感動した。これまでの蓄積が実になっているのだと思う。 ・授業者が子どもの言葉に着目し、それを始点に問いかけをすることで、子どもが主体的に学ぼうとする姿や学びに向かう意欲を引き出せていたと思う。

また、授業後に実施した参観者に対するアンケート調査の結果は、表 11 のとおりである。

表 11 授業後アンケート結果

	設問と回答内容 ※（ ）内は回答者の所属
設問 1	題材や指導案、授業について
回答例	・生徒に伝わるような表現で説明していたところがよかったと思う。スライドの枚数を減らしたり、板書の時間を削ったりすると、話合いの時間が長く確保でき、時間にゆとりが生まれたのではないかと。(本校教諭) ・授業者が題材を研究し、学ぶ生徒たち一人ひとりのことを考えながら言葉やイラスト等を検討した授業であったことが伝わった。一つひとつの内容が、よいスピード感で頭に入ってくるように感じた。(本校教諭) ・子どもに合わせた授業でイメージしやすいものだった。(他校教諭) ・今までの学習の経緯を踏まえたり、子どもの実態に合わせた指導内容であったり、板書や視覚的教材等を活用していたり、大変よかった。(本校教諭) ・授業のスピードに生徒がついていけていなかった。(他校教諭) ・対象生徒一人ひとりの実態を踏まえた支援の工夫が随所にあり、言語での表出は少なくとも表情や身振り等から、生徒一人ひとりがしっかり考えている様子が伝わってきた。今回の題材はどの生徒にとっても今後非常に重要な内容であるため、本校でもしっかり考えていかなければならないと思う。(他校教諭) ・黒板やホワイトボード、スライドの使い方等参考になった。グループ学習を取り入れることで、高め合い深め合うことができたのではないかとと思う。今回の授業を参考に、自身の学校で実践していこうと思う。(他校教諭)
設問 2	本校における「生命（いのち）の安全教育」の取組について
回答例	・今年度本校に来たが、性に関する指導について計画的に取り組んでいることにとても驚いた。この取組がどうだったのかどうかは、すぐに評価できるものではないと思うが、数年後、子どもたちが成長したときに、学んだことの効果が実感できるように継続が必要であると思う。(本校教諭) ・多職種の専門家との出会いの機会にもなり、つながりが増えてありがたい。保健師さんとは、今後いろいろな地域連携をしていきたい。(本校教諭) ・とても熱心にされていると思い、継続は力なりだと感じた。(他校教諭) ・3年目ということで、全校全教職員で取り組んでいることが素晴らしいと思う。一部の分掌や教科ではなく、どの方でも指導できる、指導するといった方向性があることは、卒業後の保護者にとってもよい指針だと思う。(他校教諭) ・取組が充実してきており、先生の授業を見ても安定感を感じる。(他校教諭) ・「授業」としての教育となっていると思う。(他校教諭) ・継続的に取り組み、ブラッシュアップしていることがなにより素晴らしいことだと思う。とにかく、主担当の教員がいなくなると取組が停滞するということがある

	が、ぜひ学校として持続可能な形を今後も模索してほしいと思う。本校もその方法を考えていきたい。(他校教諭) ・特別支援学校に在籍する児童生徒たちにとって、重要な取り組みであることを改めて感じた。自身の学校も今年度実践し、来年度以降は意識付けや取り組みを共有していきたい。(他校教諭)
設問 3	生徒の変容を感じ取れた具体的な場面について (本校所属教諭のみ)
回答例	・今回の授業中、とある生徒が「相談する」と発言したとき、前回の学習内容が身に付いていると感じた。 ・授業では、生徒の様子から、今までの学びや積み重ねのたまものであろう発言がうかがえ、「繰り返し」指導する大切さを感じた。これからの子どもたちの日々の様子で、そのような場面を見かけたら価値付けていきたいと思う。 ・授業としては理解しているが、実生活では生かすことができていないように感じる。

第3章 研究のまとめ

第1節 成果と課題

第1章第2節2で示した4つの研究方法について、それぞれの成果と課題を報告する。

まず、「文献調査および研究大会への参加」では、文献や専門書籍の精読、第51回全国性教育研究大会等各種研修会への参加により、学習指導要領における性に関する指導の位置付けや基本的な考え方について改めて整理し、理解を深めることができた。さらに、東京都手引を読み込むことで、効果的な組織編成やそれぞれの果たす役割等、取組を実際に進めていくうえでの指導体制について学び、その後のココカラプロジェクトの発足に向けた足がかりを得ることができた。一方、これら筆者個人が得た知識等について、実際に一人ひとりの教員がどの程度まで理解したうえで性に関する指導を進めているのか、については確認が取れておらず、校内で十分な共通理解が得られているかについては不明である。

次に、「ココカラプロジェクトの発足と推進」では、計5回におよぶ推進委員会の開催により、各学部が足並みをそろえながら新たな実践についての取組を進めることができた。特に、「性に関する指導 個人重点目標」および目標シートの実現は、推進委員会での熟議や検討、事前の入念な打合せがあったからこそであると考えられる。また、「生命（いのち）の安全教育」と連携することで、実践協力校の先生方や学識経験者等から「生命（いのち）の安全教育」やココカラプロジェクトの取組に関する多くの助言や感想をいただいた。ただ、これらの助言等を今後どのように取り入れ、実行に向けて進めていくのか、について、具体的な検討はまだ行うことができていない。加えて、教務係や進路係、相談支援係等、他分掌との連携が不十分であることも課題として挙げられる。

続いて、本研究の主軸でもある「様式の作成と活用」について検討していく。児童生徒一人ひとりへの性に関する指導の充実のため、本研究の一環としてさまざまな様式を作成し、活用することができたが、全ての出発点は保護者へのアンケート調査である。アンケートを実施し、その結果を基に「性に関する指導 個人重点目標」の作成に着手したことにより、保護者の思いを尊重しながら進めることができたとともに、「性」という話題で教員と保護者がつながることができた。保護者によっては、アンケート調査がきっかけとなり、懇談会や日々の連絡帳でのやりとりを通して、担任と保護者が子どもの性に関する話を気軽にするようになり、両者間での子どもの実態がよくわかるようになった、という一例もあった。

「性に関する指導 個人重点目標」については、初めての取組であったが、小学部、中学部、高等部の全学部で実践し、それぞれの児童生徒について重点目標を定めるとともに、目標について保護者から理解を得ることができた。このことは、担任一人の考えによらず、複数体制で、かつ、目標の設定に至るまでを順序立てて進めていったことが功を奏したのではないかと考えている。

また、目標シートの作成により、教員間で意見を交わしながら目標や手立てを考え、設定した目標やその支援の方向性についても共通理解することができた。加えて、目標シートを読むことでそれぞれの教員の思いや意図を感じ取ることができ、その内容に共感したり、新たな気付きを見つけたりなど、多くの刺激を受けることができたことも、大きな成果の一つであると感じている。

振り返りシートの取組を続けていく中で、子どもや教員、保護者の反応の変化を見取することもできた。例えば、振り返りシートを授業中のノートとして使用し、メモを取るようになった生徒や、より保護者に授業のイメージをもってもらえることができるように記述の仕方を工夫し、イラストを交えたり、写真を貼ったりして伝える教員の例、あるいは、学校での取組を前向きに捉え、「家庭でも実践してみたい」等のコメントを書いてくださる保護者の例もあった。また、教員、保護者ともに、子どものことをほめるような記述も多く見られたことも、喜ばしい反応であった。

このように、作成したそれぞれの様式について、一定の成果を挙げることができた一方で、残された課題も多くある。例えば、外部機関との連携の不十分さである。確かに、各様式の作成と活用により、保護者とつながることができたが、医療や福祉、あるいは地域の方々等、子どもたちがかわりのある学校外の機関との連携については、未だ十分であるとは言えない。今後は、学校と家庭のつながりをより密にすることと並行して、外部機関とも連携を図るため、その方法について模索することが必要である。

加えて、個々で学習した内容の引継ぎ方法についても検討していく必要がある。高等部を卒業した生徒について、就労先等が「学校で何を学んできたのか」や「何ができるようになったのか」という情報を知りたいと強く求めているケースは多い。特に性に関する指導については、就労先等も興味・関心が強い分野であるといった話も耳にした。校内での確実な引継ぎはもちろんのこと、外部機関等校外への情報提供の仕方についても目を向けることが大切である。

最後に、「研究授業および研究協議」では、自身の授業を実践協力校の先生方や外部専門家の皆様等に参観していただき、また、その後の研究協議においても、多くの方々のご出席がかなった。

協議では、さまざまな視点からの助言や有益な情報を収集することができた。また、授業後のアンケートでは、校内外の教員から忌憚ない意見をいただくことができた。これらの意見につい

ては、どのような方法で実現していくのか、令和6年3月現在プロジェクト担当者間で検討を行っている最中である。加えて、今後も授業公開や協議を行い、より幅広い意見を募ることで、さらなる改善に向けて取り組みたいと考えている。

以上で述べた成果と課題について整理するとともに解決策を検討し、表12にまとめた。

表12 本研究の成果と課題、解決策

研究方法	成果と課題、解決策	
1. 文献調査および研究大会への参加	成果	・各種研究会への参加等により、学習指導要領における性に関する指導の位置付けについて確認することができた。 ・東京都手引等の活用により、本校の組織体制を見直した。 ・専門書籍等を活用し、指導案の作成や教材研究に生かした。
	課題	・筆者個人が得た知識等について、回覧や通信での周知により学校全体に周知することはできたが、十分な共通理解が得られているかについては不明である。
	解決策	・教員全体の理解をより深めるために、夏季休業等を活用して校内研修を行う。
2. ココカラプロジェクトの発足と推進	成果	・定期的な推進委員会の開催により、担当者間で熟議を行うとともに共通理解を図ることができた。 ・諸会議に外部専門家を招致し、多くの助言をいただいた。
	課題	・外部専門家からいただいた助言を今後どのように取り入れていくのかについてはまだ検討できていない。 ・他分掌との連携は不十分である。
	解決策	・外部専門家からいただいた助言を今後どう生かすか、というテーマで協議し、今後の実践につなげる。 ・組織編成をより幅広く行う。
3. 様式の作成と活用	成果	・児童生徒一人ひとりの性に関する指導の充実のために必要な様式を作成することができた。 ・様式の作成と活用により、学校と保護者との連携ができ、両者間で子どもの実態や課題を共通理解することができた。 ・様式の活用により、児童生徒一人ひとりの指導内容を整理・蓄積することができた。
	課題	・作成した各様式の実用性や妥当性についての検証が必要である。 ・各医療機関や福祉施設、放課後等デイサービス等の外部機関との連携は不十分である。
	解決策	・保護者や教員対象のアンケート調査を実施することで、それぞれの様式に対する意見を募るとともに、具体的な検証および検討・改善を行う。

4. 研究授業および研究協議	成果	・各学部、各学校で研究授業を行うことで、授業者の経験や指導案、教材・教具に関する、より幅広い蓄積ができた。 ・研究協議内にて、4つの視点から授業を検討し、推進委員等から具体的な助言をいただくことができた。
	課題	・授業前後、特に授業後の検討（指導案や教師の発問や進め方、教材・教具の妥当性等）について、十分に行えていない。 ・実際の授業を保護者や学校関係者ではない地域の方々に直接見ていただく機会が少なかった。
	解決策	・授業前の打合せについては、回覧だけではなく模擬授業を取り入れるなどして、より複数体制で、入念に、かつ計画的に行う。また、授業後の検討については、授業後の協議や教員へのアンケート調査等を積極的に導入する。また、これらの検討を可能にするための時間の確保にも努める。 ・授業については、引き続き保護者への授業公開を行うとともに、保護者宛文書のみならず、連絡帳や学級通信、ココカラだより等で繰り返し伝えることにより、周知・徹底を図る。地域についても、授業公開ができるように地域公開授業日を増やすなどする。

最後に、実践担当者としての個人的な所感を述べながら、授業について検討していく。

授業は、「生命（いのち）の安全教育」を題材に行い、自身が昨年行った同題材の実践例を基に、一人ひとりの実態や特性はもちろんのこと、興味・関心のありかや日ごろの言動等をヒントに、構成や発問の仕方、スライドのレイアウト等を工夫しながら構築していった。

検討を進める中で、「生命（いのち）の安全教育」という題材が、本研究のテーマでもある「個に応じた学び」にはそぐわないのではないかという悩みは常にあった。しかしながら、授業後アンケートの「一人ひとりの実態や特性を踏まえた工夫があった」という記述を見て、「生命（いのち）の安全教育」というテーマこそ共通しているものの、授業の進め方や支援方法については、確かに一人ひとりの生徒のことを考えながら作っていったものであったことに、改めて気付かされた。「今まで『個に応じた学びの充実』に着目するあまり、それが集団の中でも実現可能なものである、という当たりまえのことを見落としていたのかもしれない。」そのように思い至ることができ、視界が明るくなったように感じたことを覚えている。

「このような問いかけをしたら、この生徒はどんな反応をするだろう」「このような表現なら、あの生徒にもよりわかりやすく伝わるのではないか」等、生徒一人ひとりの反応を想像しながら授業を組み立てていくことは、非常に有意義な時間であった。今後も一教員として、生徒一人ひとりのことを思い浮かべつつ、同時に自身も生き生きとするような授業づくりを心掛けていきたいと思う。そして、アンケート結果にもあったように、今後も繰り返し、継続して取り組んでいくことで内容の定着を図るとともに、実際の生活場面で生かすことができるように、実践と改良を進めていきたい。

第2節 おわりに

「こころが生きると書いて、性と読みます。性格の“性”、適性の“性”。こころとからだを大切にし、自分らしく生きてください。」

これは、熊本県助産師会の理事である加治美由起氏が、第51回全国性教育研究大会にて話された言葉である。ますます情報化・複雑化・多様化するであろう、これからの社会。そんな時代に身を委ねる中で、子どもたち一人ひとりが自分らしく、そして生き生きと過ごすためには、やはり、こころが生きるための教育、すなわち「性教育」が大切であると思われる。さまざまな障害がある子どもたちなら、それはなおさら強く言えることかもしれない。

本校に在籍する子どもたち、一人ひとりに「性」に関するさまざまな困り感がある。困っている子ども自身をどうにかして支えたい。一人ひとりに寄り添った支援を考えたい。本研究はそのような思いから始まった。しかし、研究を進めるうちに、あることに気が付いた。それは、子どもたちと同じくらい、もしかするとそれ以上に困っているのが保護者であるということだ。寄せられた保護者アンケートの記述を見てみると、その悩みや不安はさまざまであり、切実な思いが感じ取れるものも多くあった。そういった保護者の思いの大きさやこれまでの苦労は、一教員としては到底計り知れず、その重みを実感した。

ここ数年、子ども・大人に限らず、「性についての話」が、ニュース等で頻繁に取り上げられるようになった。「おうち性教育」という言葉も耳にするようになり、専門書籍も数多く出版されている。このような背景から、以前と比較すると「性の話」について注目度が高まり、より身近でオープンな存在になったように感じる。しかしながら、学校現場では「寝た子を起こすな」という風潮も強く残っていると耳にする。「ひょっとすると、研究を進めていく中で、校内でもそのような意見に出くわすかもしれない。」そのような漠然とした不安を抱える中、参加した第51回全国性教育研究大会にて、日本障害児教育研究会会長の山本良典氏はこう話された。

「寝た子を起こすな、ではないのです。寝た子は、上手に起こすのです。」

この言葉を聞き、不安が消え、安心することができたことを強く覚えている。ちょうどそのとき、「性に関する指導 個人重点目標」の計画について検討している段階であった。

「このまま自信をもって進めよう。」そう思い、再び前向きな気持ちで向き合うことができた。

今回の研究を通して、性に関する指導を語るうえで最も大切なことは何なのか、改めて考えた。「障害のある子どもたち一人ひとりの性のこと」、そして、「子どもを支える保護者の思い」について、日々向き合い、悩み、考える——、そのこと自体が、教員として何より重要な姿勢ではないだろうか。子ども自身、教員、そして保護者がつながり、それぞれの立場から、「性のこと」を考え、できることを探し、力を合わせながら進んでいくことを、何よりも尊重していきたい。そして今後は、そのつながりの輪を広げ、地域や医療とも連携して取り組んでいきたい。

「この子が、自分らしく、そして、たくましく生きていくために、必要なことってなんだろう。」我々教員は、そんな問いを立てながら子どもたちを見つめ、一人ひとりの「性」について、もう一度じっくり考えなければならない。そして、悩み、考えたことを、周りの教員やその保護者と共有しなければならない。悩み、考え、話することから、こころが生きる教育を広げ、子どもたち一人ひとりが豊かに生きることのできる社会の実現に向けて、力を尽くしていきたいと考えている。

引用文献

- 1) 文部科学省 (2017) : 小学校学習指導要領 第1章総則第1の2 (3)
- 2) 文部科学省 (2019) : 改訂 「生きる力」を育む小学校保健体育教育の手引き p. 32
- 3) 小貫大輔 (2023) : 性教育をめぐる学校と家庭の連携～学習指導要領で謳われる「保護者の配慮を得ることへの配慮」を実現するには～、第51回全国性教育研究大会 p. 37
- 4) 横嶋剛 (2023) : 学習指導要領に基づく性に関する指導 2 学習指導要領の基本的な考え方「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進、第51回全国性教育研究大会 p. 9-10
- 5) 東京都教育委員会 (2019) : 性教育の手引 p. 19-20

参考文献

- 2) 内閣府 (2020) : 性犯罪・性暴力対策の強化の方針 (性犯罪・性暴力対策強化のための関係府省会議決定)
- 3) 文部科学省 (2022) : 性犯罪・性暴力対策の強化について
- 4) 文部科学省 (2022) : 生徒指導提要 (改訂版)
- 5) 文部科学省 (2021) : 「生命 (いのち) の安全教育」指導の手引き
- 6) 文部科学省総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課 (2023) : 「生命 (いのち) の安全教育推進事業」の取組に関する実践事例集について (周知)
- 7) 文部科学省 (2021) : 生命 (いのち) の安全教育推進事業
- 8) 中央教育審議会 (2016) : 幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について (答申)
- 9) 文部科学省 (2017) : 学習指導要領解説各教科等編 (小・中学校及び高等学校体育、保健体育、特別活動編)
- 10) 横嶋剛 (2023) : 学習指導要領に基づく性に関する指導、第51回全国性教育研究大会
- 10) 野津有司 (2023) : 今、学校に求められる性教育とは、第51回全国性教育研究大会
- 11) 小貫大輔 (2023) : 性教育をめぐる学校と家庭の連携～学習指導要領で謳われる「保護者の配慮を得ることへの配慮」を実現するためには～、第51回全国性教育研究大会
- 12) 加治美由起 (2023) : 助産師が伝える思春期教育～小学校高学年への実践を通して～、第51回全国性教育研究大会
- 13) 山本良典 (2023) : 障害のある子の性を考える～ステキな大人になるために～、第51回全国性教育研究大会
- 14) 東京都教育委員会 (2019) : 性教育の手引
- 15) 松浦賢長、千葉県立柏特別支援学校 (2018) : ワークシートから始める特別支援教育のための性教育、ジアース教育新社
- 16) たきれい (2021) : 性の絵本 みんながもってるたからものってなーんだ?、KADOKAWA

謝辞

この度、このような研究の機会を与えてくださり、助成をしていただきました公益財団法人みずほ教育福祉財団に深く御礼申し上げます。また、本研究を特別支援教育研究論文として御推薦いただき、多大なる御指導、御助言をしてくださいました独立行政法人国立特別支援教育総合研究所研修事業部主任研究員真部信吾様に深く感謝申し上げます。さらに、本研究を行うにあたって、推進委員会および研究授業、研究協議に御参加いただき、多大なる御協力をいただきました推進委員の皆様方ならびに「生命（いのち）の安全教育」実践協力校8校の先生方にも、重ねて御礼申し上げます。そして最後に、アンケートへの回答や振り返りシートへの記入をはじめ、本研究にお力添えいただいた本校児童生徒の保護者の皆様に、心より感謝申し上げます。

本研究では、障害のある児童生徒一人ひとりの個別の性に関する指導をより一層充実したものにしたい、という思いを出発点に、「生命（いのち）の安全教育」と連携しつつ、研究推進委員会の開催や様式の作成、授業実践等、さまざまな取組を進めて参りました。

特に、作成した「性に関する指導 個人重点目標シート」や「性に関する学習 つながる振り返りシート」をはじめとする各様式については、今後校内外で活用されることで、性に関する指導を進める先生方の一助となることを願うとともに、より多くの先生方の目に触れることで、よりよい形にアップデートされていくことを期待しています。

また、「生命（いのち）の安全教育」の授業実践内で使用した指導案やワークシート等についても同様に、多くの先生方に活用していただけたら幸いです。

本研究を通して、一定の成果を得るとともに、さまざまな課題も見つかりました。今後は、これらの課題解決に向けてどのようにアプローチしていくのか、学校全体で検討し、実践していくことで、障害のある児童生徒一人ひとりへの性に関する指導がさらなる充実と発展に向かうよう、精一杯努めて参りたいと思います。

これからも、子どもたち一人ひとりが、より自分らしく、たくましく、そしてこころもからだも豊かに過ごすことができる学校づくりに力を尽くしていく所存です。

巻末資料

中学部

年

生徒氏名

お子様について、以下の質問1～3にお答えください。なお、ご記入いただける質問のみで構いません。

質問1 お子様に身に付けてほしい項目を、優先順位の高いものから順に1～3まで選び、「優先順位」の欄に数字で記入してください。また、「学習内容例」で、特に気になる内容については、□のなかに✓をつけてください。(複数選択可)

優先順位	項 目	学習内容例
	人とのかかわり	☐ 心地よさの体感 ☐ 他者への意識・関心 ☐ 他者との心地よいかかわり ☐ 他者との適切な距離感 ☐ 家族の中での自分の役割（人の役に立つことを知る） ☐ 家族の成り立ち（結婚・出産・子育て） ☐ 性被害から身を守る 加害者にならないための心得 ☐ 性感染症・エイズ ☐ 性に関する情報への対処の仕方
	生命の尊さ	☐ 受精（お父さん・お母さんから生まれてきた自分） ☐ 胎児の成長、お父さん、お母さんから生まれてきた自分
	大切な体	☐ 自分の体への関心 ☐ 体の部分・名称・働き ☐ プライベートゾーン ☐ 汚れに気付く ☐ 歯みがき・洗面・手洗い ☐ 入浴・洗体・洗髪・性器の清潔 ☐ トイレの使い方（排尿・排便） ☐ 排尿・排便後の始末 ☐ トイレのマナー（ノック・スリッパ・鍵をかける） ☐ 衣服の着脱・着替えの始末 ☐ ハンカチの携帯・爪切り・耳掃除 ☐ ひげそり・むだ毛の処理 ☐ 自分の成長に気付く ☐ 成長に必要な要素（栄養・運動・睡眠） ☐ 発育・発達性の性差、個人差 ☐ 妊娠・胎児の成長、出産
	大人になる心	☐ 心の成長・異性への関心 ☐ 性的欲求、性についての不安や悩みの対処法 ☐ 性意識と望ましい性行動の選択・男女交際
	性別	☐ 自分の性別（自分の性への理解）、男女の違い ☐ 社会のルール（トイレ・風呂・着替え） ☐ ジェンダー ☐ デートDV・男女交際
	その他	☐ 一人ひとりのよいところに気付く ☐ 適切な判断・意思決定・行動選択ができる ☐ 自尊感情・自己肯定感を養う

質問2 質問1について、具体的な内容等があれば記入してください。

質問3 ご家庭で、性に関する悩み等があれば記入してください。

アンケートへのご協力をありがとうございました。今回ご回答いただいた内容と各担任の実態把握を基に、お子様の「性に関する指導 個人重点目標」を作成いたします。目標については、後日、各担任よりお知らせいたします。

提出先 各担任→各学部 性に関する指導担当

~~~~~以下はアンケート回収後に記入をお願いします~~~~~

性に関する学習 個人重点目標

中学部 年 生徒氏名

(この欄は各担任が記入します)

上記の目標についてご確認いただけましたらご署名いただき、9月1日(金)に各担任へご提出ください。

保護者氏名

今後は「性に関する指導 個人重点目標」を基に、より個に応じた学習を進めて参ります。  
また、「性に関する指導 個人重点目標」について、ご不明な点等がありましたら、お気軽に担任までご連絡ください。

## 性に関する指導 個人重点目標シート

個人重点目標

児童生徒氏名（ ）

保護者、担任・担当の思い、目標設定の意図等（※自由記述）

個人重点目標達成に向けた手だて（※自由記述）

※担任・担当者として、目標達成に向けてどのような手立てで進めていくか、その方向性を記入してください。

その他（※自由記述）

※目標達成に向けた取組を進める上で、担任・担当者としての不安や悩み、要望等があれば、ご自由に記述してください。

ありがとうございました。 月 日（ ）までに、 にご提出ください。

## 個人重点目標

**(例) 人前で隠すところについての知識を身に付け、約束をまもることができる。**

- ・「～しない」など、禁止や否定の言葉を使うことはできるだけ避けましょう。
- ・なるべく肯定的な表現にしましょう。

保護者、担任・担当の思い、目標設定の意図等（※自由記述）

**(例) アンケート結果より、保護者は「人前で大事なところを触るようになり、どう対応したらよいかかわからない」と悩んでいた。学校でも同様の行動があり、どう対処したらよいか手立てを考える必要性を実感していたため、目標を上記のように設定した。**

アンケート結果に、保護者からの具体的な思いの記述がある場合は、ここに記入しておくとうわりやすくなります。

個人重点目標達成に向けた手だて（※自由記述）

※担任・担当者として、目標達成に向けてどのような手立てで進めていくか、その方向性を記入してください。

**(例) まずは、保護者と密なやりとりをして、情報を収集するところからはじめる。**

“人前で隠すところ”の知識・理解については、性に関する学習の時間に学んだことを個別の時間におさらいすることで、定着を図っていく。また、そういった行動が見られたときは、「大事なところだから、隠そうね」というように、隠さなくてはいけない理由と適切な行動を伝えるなどして、日常的な観察と声かけを行っていきたい。

- ・目標達成に向けた手立てについて、思いつくものや取り組みそうなことをご自由に書いてください。
- ・文章でも、箇条書きでもかまいません。

その他（※自由記述）

※目標達成に向けた取組を進める上で、担任・担当者としての不安や悩み、要望等があれば、ご自由に記述してください。

**(例) 支援の方向性を統一するため、学部内・学級内で対策を検討し、共通理解することも必要だと思う。対応する教師によって支援の方法が違っては、子どもが混乱してしまうので。また、そのほか有効な声かけやその他支援方法があれば知りたい。**

- ・手立てや支援の方向性に悩んでいる場合、そのことを書いていただいても OK です。
- ・こういう知識や情報が欲しい、などの要望でも OK です。

ありがとうございました。 月 日 ( ) までに、 にご提出ください。

## 個人重点目標

(例) 公共の場所の使い方等、社会のルールについての知識を身に付け、決ま

りをまもることができる。

- ・「～しない」など、禁止や否定の言葉を使うことはできるだけ避けましょう。
- ・なるべく肯定的な表現にしましょう。

保護者、担任・担当の思い、目標設定の意図等（※自由記述）

(例) アンケート結果より、保護者は子どもが用便ではない目的でトイレに入ることについて悩んでいた。そういった思いに寄り添い、支援していくため、目標を上記のように設定した。

アンケート結果に、保護者からの具体的な思いの記述がある場合は、ここに記入しておくとうわりやすくなります。

個人重点目標達成に向けた手だて（※自由記述）

※担任・担当者として、目標達成に向けてどのような手だてで進めていくか、その方向性を記入してください。

(例) ・保護者から、より詳しい情報を提供してもらったり、日頃のかかわりの中で生徒の興味関心を探ったりすることで、行動の理由を考える。

- ・性に関する学習、校外学習等の時間に、社会のルールについて学習する。また、個別の時間に学んだことのおさらいをする。
- ・必要に応じて、ケース会議や情報交換会を開く。
- ・放課後等支援施設とも連携し、情報を集める。

- ・目標達成に向けた手立てについて、思いつくものや取り組めそうなことをご自由に書いてください。
- ・文章でも、箇条書きでもかまいません。

その他（※自由記述）

※目標達成に向けた取組を進める上で、担任・担当者としての不安や悩み、要望等があれば、ご自由に記述してください。

保護者の思いはよくわかりましたが、学校では見られない行動なので、直接的な手立ての実行（問題行動が起きた場面でのアプローチ）は難しいと思います。そのため、学校としては、社会のルールに関する知識・理解の定着など、違った角度からアプローチしていくことを検討しています。また、学校での学習を保護者に伝え、直接的な手立てについては、主に家庭で取り組んでもらうことが必要になると思います。

- ・手立てや支援の方向性に悩んでいる場合、そのことを書いていただいても OK です。
- ・こういう知識や情報が欲しい、などの要望でも OK です。

ありがとうございました。 月 日 ( ) までに、 にご提出ください。

中学部 性に関する指導 指導計画表

日程計画（R 5. 1 0. 2 3 修正版）

| 月日<br>校時              | 内容 【 】 内は項目                                |     |                                                              |     | 備考               |
|-----------------------|--------------------------------------------|-----|--------------------------------------------------------------|-----|------------------|
|                       | Aグループ<br>(場所: )                            | 主担当 | Bグループ<br>(場所: )                                              | 主担当 |                  |
| 9 / 2 5 (月)<br>4 校時   | 【大切な体】<br>各部位の名称、<br>器官の働き、<br>プライベートゾーン 等 |     | 【大切な体】<br>プライベートゾーン、<br>異性への関心、性的欲<br>求、不安や悩み 等              |     |                  |
| 1 0 / 4 (月)<br>4 校時   | 【大切な体】<br>男女の違い、体の発育・<br>発達、個人差 等          |     | 【大切な体】<br>男女の違い、体の発<br>育・発達、思春期の体<br>の変化、男女交際、望<br>ましい行動選択 等 |     |                  |
| 1 0 / 1 1 (水)<br>4 校時 | 女子                                         |     | 男子                                                           |     |                  |
|                       | 【大切な体】<br>男女の違い、体の発育・<br>発達、個人差 等          |     | 【大切な体】<br>男女の違い、体の発<br>育・発達、個人差 等                            |     |                  |
| 随時                    |                                            |     | 【大切な体】<br>(生殖に関わる機能の<br>成熟) 生殖、受精 等                          |     | 理科               |
| 1 0 / 2 3 (月)<br>3 校時 | 【人とのかかわり】<br>人とのかかわり、<br>心地よい関係 等          |     | 【人とのかかわり】<br>性に関する情報の対<br>処、性感染症・対処法、<br>性被害 等 (生命の安<br>全教育) |     | 文科省<br>資料を<br>活用 |
| 1 1 / 1 5 (月)<br>3 校時 | 【人とのかかわり】<br>素敵なふれあい (フォークダンス、ふれあいゲーム) 等   |     |                                                              |     | 体育               |
| 1 2 / 6 (水)<br>2 校時   |                                            |     | 【人とのかかわり】<br>性に関する情報の対<br>処、性感染症・対処法、<br>性被害 等 (生命の安<br>全教育) |     | 文科省<br>資料を<br>活用 |
|                       | 1、2 年生<br>(場所: )                           |     | 3 年生<br>(場所: )                                               |     |                  |
| 1 / 1 5 (月)<br>4 校時   | 【人とのかかわり】<br>家族の成り立ち、<br>一員としての役割 等        |     | 【人とのかかわり】<br>自分史(生い立ちの記)<br>導入                               |     |                  |
| 2 / 5 (月)<br>4 校時     | 【人とのかかわり】<br>自分史(生い立ちの記)発表                 |     |                                                              |     |                  |

※上記の学習内容で、生徒の実態に合わず、補う部分が必要な場合は、担当や学級で個別に指導を行う。

令和5年（2023年）9月1日

中学部 保護者 様

山口県立萩総合支援学校  
校長 服部 芳信

中学部「性に関する指導」のお知らせ

時下 ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は、本校教育推進のため格別のご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、本校中学部では、下記のねらいのもと、計画的に「性に関する指導」を実施しております。

- （１）自分の心身の発達や発育の変化に気付き、自分や他人を大切にしようとする心情を養う。
- （２）男女の身体には違いがあることを理解し、互いに相手を理解しようとする態度を育てる。
- （３）家庭や社会のルールを学び、適切な判断や行動がとるための力を身に付ける。

今年度の学習計画は、別紙１のとおりです。ご都合がございましたら、ぜひ参観ください。

性に関する内容は、ご家庭では話題になりにくい場合もあるかと思います。つきましては、「生徒・先生・家庭の人のための 性に関する学習 つながる振り返りシート（別紙２）」を毎回の授業後に返却いたしますので、ご家庭で話題にしていいただければ幸いです。

また、つながる振り返りシートには、ご家庭からご意見等を記入していただく欄がありますので、授業の感想やご家庭での気づきや工夫等がありましたら、ぜひお聞かせください。

なお、つながる振り返りシートには、学校からお子様の学習の様子をお知らせする欄もありますが、学習内容の都合上、各担任・担当以外の教員が記入する場合がありますので、あらかじめご理解ください。

担当

中学部教諭 原 菜月

TEL 0838-25-7280

## 令和 5 年度 中学部 性に関する指導 学習計画

| 月日、曜日<br>校時                | 学習内容                     |
|----------------------------|--------------------------|
| 9 月 2 5 日 (月)<br>4 校時      | 各部位の名称、器官の働き、プライベートゾーン 等 |
| 1 0 月 4 日 (月)<br>4 校時      | 男女の違い、体の発育・発達、個人差 等      |
| 1 0 月 1 1 日<br>(水)<br>4 校時 | 男女の違い、体の発育・発達、個人差 等      |
| 1 0 月 2 3 日<br>(月)<br>3 校時 | 人とのかかわり、心地よい関係 等         |
| 1 月 1 5 日 (月)<br>4 校時      | 家族の成り立ち、一員としての役割 等       |

※学習計画は、「性に関する指導 年間指導計画」に基づいています。

※内容は、学年によって変更になる場合があります。

※授業は、学習内容に応じてグループを編成し、集団で行います。また、必要に応じて、学級や担任で個別に学習を行う場合もあります。

せいと  
生徒  
せんせい  
先生  
かてい  
家庭

のための

せい かん がくしゅう  
性に関する学習



ふ かえ  
振り返りシート



れいわ  
令和

ねん  
年

がつ  
月

にち  
日

(

)

せいとしめい  
生徒氏名

きょう  
今日のテーマ

せいと  
生徒より

せんせい  
先生より

べんきょう じゅぎょう かんそう か  
勉強したことや、授業の感想を書いてみましょう。

せんせい  
先生より

がくしゅう ようす  
学習の様子をお知らせします。

かてい  
家庭より

らん いけん かんそう き  
ご覧いただきまして、ご意見やご感想をお聞かせください。

かてい くふう きづ  
また、ご家庭で工夫していることや気づきなどがありましたら、どのようなことでもよいのでぜひお知らせください。

ありがとうございました。

がつ  
月

にち  
日

(

)

かくたんにん  
各担任に

へんきやく  
返却

ください。

# ココカラだより 第1号

～こころとからだの大切さを理解し、  
尊重するための教育推進プロジェクト～

わたしたちのこころとからだのこと…一緒に考えていきませんか？

暑い日が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか？



今年度、萩総合支援学校は

『こころとからだの大切さを理解し、尊重するための教育推進プロジェクト』  
略して、『ココカラプロジェクト』を立ち上げました。

児童・生徒一人ひとりの性に関する学習が、今までよりもっと充実した  
ものになるように、学校全体で取り組んでいくとともに、  
保護者のみなさまのお力をお借りして、性に関するさまざまなお悩みを、  
ここから一緒に考えていきたいと思っています。

ご理解・ご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます♪

性に関する指導アンケートへのご協力、ありがとうございました♪

先日は、性に関する指導 保護者アンケートへの回答にご協力いただき、  
ありがとうございました。性に関するお悩みや困りごと、疑問点など…  
保護者のみなさまのさまざまな思いや願いを知ることができました。  
お聞かせいただき、本当にありがとうございました。

現在、いただいたアンケート結果と、日頃の学校での実態把握をもとに、  
各担任・担当で『性に関する指導 個人重点目標』を作成しています。

『性に関する指導 個人重点目標』については、9月中をめどに、  
保護者のみなさまに配付いたしますので、目を通していただきますよう、  
よろしくお願いします。また、目標達成に向けてどのようなことができるのか、具体  
的な手立てについても、各担任・担当、学級団、養護教諭など、チームで検討して  
います。今後、保護者のみなさまにも、お子様の目標達成のため、ご家庭でご協力  
いただくこともあるかと存じますが、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。



全国性教育研究大会に参加してきました★

8月4日～5日に、熊本県で開催された、  
第51回全国性教育研究大会 に参加してきました。

大会では、

“様々な性の課題を賢明に乗り越え、豊かに生きていくための性教育  
～性に関する様々な発達課題及び時代の課題を性教育の実践でどう扱うか～”  
という基本テーマのもと、さまざまな視点から見た現代の性教育に関する講演や、  
発達段階、課題別の分科会等が行われました。

本研究大会、および全性連、熊本県性教育研究会に関する詳しい情報は、  
以下の QR コードよりご覧いただけます。



第51回全国性教育研究大会



全国性教育研究団体連絡協議会



熊本県性教育研究会

ココカラだよりの今後のよりよい運営のために、※承諾書提出のお願い※

『ココカラだより 写真掲載承諾書』の提出にご協力をお願いします。

※承諾いただいても、お子様の写真がココカラだより(本紙)に

掲載されない場合もあります。あらかじめご了承ください。よろしくお願いします



★締め切り…9月8日(金)

★提出先…各担任まで



編集後記 ～ごあいさつ～

「こころが生きると書いて、性と読みます。性格の“性”、適性の“性”…。  
こころとからだを大切にし、自分らしく生きてください」

先日の全性研で、助産師さんが言われた言葉が、とても印象に残っています。  
ますます情報化、複雑化、そして多様化していくであろう、これからの社会。

そんな時代であっても、子どもたちが自分らしく、たくましく生き抜いていくため、  
保護者のみなさまと一緒に、性教育に取り組んでいきたいと思っています。

今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます♪

## 性に関する指導 個人重点目標シート

個人重点目標

氏名（ ）

- ・自分はかけがえのない存在であることを知り、望ましい生活習慣を身に付ける。
- ・友だちや周りの人を大切にする。

保護者、担任・担当の思い、目標設定の意図等（※自由記述）

アンケートや懇談時の話などから保護者は着替えや身支度等に時間がかかることや人への過剰な身体接触をしてしまうことに悩んでいた。学校内でも共通の課題であり、より望ましい行動への指導・支援をしていく必要性を感じているため、上記のように目標を設定した。

個人重点目標達成に向けた手だて（※自由記述）

※担任・担当者として、目標達成に向けてどのような手だてで進めていくか、その方向性を記入してください。

- ①保護者との密接なやりとりや児童デイサービスでの様子などの情報を収集し、実態と理由を把握する。
- ②①に基づき「大切な体」「身だしなみ」「大きくなる体」等の性に関する学習を設定する。視覚的に捉えやすい教材や望ましい行動を自己選択、決定しながら学ぶ活動を取り入れる。意識するポイントと絵や写真で示し、日常生活で活用しながら継続して指導・支援を行う。
- ③進歩、成長した点を称賛したり提示物で示したりして自己肯定感を高める。

その他（※自由記述）

※目標達成に向けた取組を進める上で、担任・担当者としての不安や悩み、要望等があれば、ご自由に記述してください。

音声言語による意思の伝達に課題のある本児にとっては身体接触がコミュニケーション手段の1つであるので、他の望ましいかわり方や多様な伝達方法、表情の理解等も進めていく必要がある。また、支援の方向性を統一するために学級、学部に限らず校内全体での共通理解が求められる。

ありがとうございました。 月 日 （ ）までに、 にご提出ください。

## 性に関する指導 個人重点目標シート

個人重点目標

氏名（ ）

- ◎自分や友だちの体の成長について正しく理解する。
- ◎相手とのかかわりにおいて、マナーやルールを守った行動ができる。

保護者、担任・担当の思い、目標設定の意図等（※自由記述）

アンケート結果や懇談等の相談より、保護者は本児の人とのかかわり方（相手の同意なく頬や身体に触れる）、トイレや着替えの際のマナー（遠くから下着を下げたままトイレに入る、下着のままで室内を歩き回る）などの行動への対処法に悩んでいた。学校でも同様なことがあるため、目標を上記のように設定した。

個人重点目標達成に向けた手だて（※自由記述）

※担任・担当者として、目標達成に向けてどのような手だてで進めていくか、その方向性を記入してください。

- ①保護者と連絡帳等で通じたやりとりをしたり、行動を注意深く見守ったりして実態と行動の理由を明らかにする。
- ②性に関する学習の時間に「トイレの使い方」「身だしなみ」「大きくなる体」「性別」について具体的に学ぶ場を設定し、日常生活においても繰り返し指導をする。学習の際は視覚的に捉えやすい教材を提示するとともに、望ましい行動を自己選択する活動を多く取り入れる。
- ③目標とする行動に近づいていることを見取り、称賛することで定着を図る。

その他（※自由記述）

※目標達成に向けた取組を進める上で、担任・担当者としての不安や悩み、要望等があれば、ご自由に記述してください。

本児にとってスキンシップは他者とかかわりの自発的な行動であるためむげに制止するのではなく、代替行動に置き換えていきたいと考えるが、そのバランスをどう考えて接していくべきか悩むところである。

ありがとうございました。 月 日 （ ）までに、 にご提出ください。

## 性に関する指導 個人重点目標シート

個人重点目標

氏名（ ）

- ・清潔や衛生を保つことの大切さを理解し、手洗い等一人でできることを身に付ける。
- ・自分の気持ちや情緒をコントロールして変化する状況に対応する力を養う。

保護者、担任・担当の思い、目標設定の意図等（※自由記述）

生活のリズムや生活習慣の形成のために、1日の生活状況をしっかり把握していきたい。家庭では、覚醒と睡眠のリズム、学校では給食及び水分摂取の時間や回数、量、接種時の姿勢や救助の方法、排泄の時間帯、回数、方法、排泄のサインの有無についてしっかり見て、健康・安全な学校生活を送ることができるよう支援していきたい。

個人重点目標達成に向けた手だて（※自由記述）

※担任・担当者として、目標達成に向けてどのような手だてで進めていくか、その方向性を記入してください。

生活環境など様々な要因から心理的に緊張したり、不安になったりする状態が継続し、集団に参加することが難しくなることがある。このような場合は環境的な要因が心理面に大きく関与していることも考えられるので、家庭としっかり連携しながら睡眠、生活のリズム、体調、天気、家庭生活、人間関係など、その要因を明らかにし、情緒の安定を図ることができるよう、環境改善に努める。

その他（※自由記述）

※目標達成に向けた取組を進める上で、担任・担当者としての不安や悩み、要望等があれば、ご自由に記述してください。

自分の行動を注意されたときに反発して興奮を静められなくなることがある。このような場合には、自分を落ち着かせることができる場所に移動して、その興奮を静められることやいったんその場を離れて深呼吸するなどの方法があることを教え、それらを実際に行うことができるようにしていきたい。

ありがとうございました。 月 日（ ）までに、 にご提出ください。

## 性に関する指導 個人重点目標シート

個人重点目標

氏名（ ）

**自分の成長に気付くとともに、自分や友だちを大切にしよう และสามารถ。**

保護者、担任・担当の思い、目標設定の意図等（※自由記述）

保護者のアンケートでは1番目の項目には「大切な体」内容では「自分の成長に気付く」2番目の項目には「大人になる心」があがっている。担任としては体の成長に気付く、心も徐々に大人になっていることを知ってほしい。また、自己肯定感を高め、自分に自信をもってほしい。さらに学校や家庭等の社会において、自分の役割や責任も理解してほしいと思っている。

個人重点目標達成に向けた手だて（※自由記述）

※担任・担当者として、目標達成に向けてどのような手だてで進めていくか、その方向性を記入してください。

- ・保護者とは個人懇談会や毎日のお便りにて連絡を密にしている。
- ・体が急激に成長している。身長や体重等、体の成長した様子を実際の重さや長さ、写真等で理解できるように示すようにしたい。また、周りの友達も一緒に成長していることも知らせる。加えて、成長には個人差や男女差があることも知ってほしい。
- ・そのうえで、心も共に成長していることも自覚し、「人が自分と違う行動をする、違った考えをもつ」など、自分以外の人にも目を向けて、かかわりを楽しみながら生活してほしいと考える。
- ・授業では、活動や役割分担等、友達とかかわる場面を多く仕組む。
- ・人がかかわるにはトラブルもあると思われるが、生徒同士で解決できるように見守ることも大切だと考える。

その他（※自由記述）

※目標達成に向けた取組を進める上で、担任・担当者としての不安や悩み、要望等があれば、ご自由に記述してください。

体の成長について、担任とはいえ、異性の教員には話したくないことや見られたくないことが多々あると想像できる。そこで、同性の教員にもさまざまな面で協力をお願いしたい。

ありがとうございました。 月 日（ ）までに、 にご提出ください。

## 性に関する指導 個人重点目標シート

年 組 氏名（ ）

### 個人重点目標

良好な対人関係を築くために、自分や相手のことを大切にすることや、自分と相手にとって心地よい距離感で接することが大切であるということを理解する。

### 保護者、担任・担当の思い、目標設定の意図等（※自由記述）

保護者アンケートにおいて「人とかかわり」の欄に優先順位 1 番の記入があり、またその中の項目の「他者との心地よいかかわり」に印があった。本人は誰に対しても分け隔てなく接し、その距離感が性別関係なく近いため、誤解が生じる可能性もある。そのため、対人関係における適切な距離の取り方を理解させたい。

### 個人重点目標達成に向けた手だて（※自由記述）

※担任・担当者として、目標達成に向けてどのような手だてで進めていくか、その方向性を記入してください。

パーソナルスペースについて、パワーポイントや動画を活用しながら説明をし、実際にロールプレイ等で実演しながら体験する。また「尊重」とは、どういうことかを狭義から広義に渡り考えさせ、パワーポイントや動画を見たり、具体例を挙げたりすることで対人関係を結ぶことの理解を深めていく。

本人は、距離が近いことに対して不快感をもつことあまりないため、どうすれば実感できるのか、スクールカウンセラーに相談し助言を求めた。

### 《スクールカウンセラーのアドバイスより》

…目をつむった状態で、後ろから近づき反応をみる。鳥肌や「ゾワゾワ」した気持ちになったところで手を挙げさせる。その身体の反応が、他の人では「不快感」になるのだと説明する。

### その他（※自由記述）

※目標達成に向けた取組を進める上で、担任・担当者としての不安や悩み、要望等があれば、ご自由に記述してください。

実態差や人数等の理由から、学級対応で授業を進めていくことに難しさを感じている。それぞれの感じ方や考え方の違いを知ることができ、有効だと思うのだが、現時点では仕方がないことだと思っている。よい考えがあれば知りたい。

ありがとうございました。 月 日 （ ）までに、 にご提出ください。

## 性に関する指導 個人重点目標シート

年 組 氏名（ ）

### 個人重点目標

性感染症等に関する正しい知識を習得したり、性に関する情報への対処の方法について学習したりすることにより、性被害から身を守ることへの意識をもつ。

### 保護者、担任・担当の思い、目標設定の意図等（※自由記述）

アンケート結果より、保護者は女性としての大切な体（月経、妊娠、出産等）の知識とともに、卒業後を見据えて性被害防止や性情報への対処の仕方等を学んでほしいと思っていることが分かった。そういった思いに寄り添うために目標を上記のように設定した。

### 個人重点目標達成に向けた手だて（※自由記述）

- ・今までの「性」に関する指導内容についての記録を見直して、復習的に理解度チェックができるようなワークシートを準備する。
- ・話しやすい雰囲気づくりを大切にして、自分が気になっていることや分からないことを出しやすい環境設定をこころがける。
- ・情報機器の扱いにも慣れていて、ネットでの情報を得ることも可能ではあるが、すべて正しい情報とは限らないことや、興味本位からの行為が法律に触れる場合もあることを具体的に知らせていく。

### その他（※自由記述）

- ・「性」に関する指導は、積み重ねと同じ歩調での指導が重要だと思っています。個別の重点目標についての共通理解というか、情報共有が必要かと思っています。発達段階に応じた指導や個別の指導ではありますが、個に応じた「性」についての指導は、学年団での共通理解を図ることが必要ではないでしょうか？
- ・保健や家庭科で「性」に関連した学習内容はどの程度取り扱われているのかを知りたいです。

ありがとうございました。 月 日 （ ）までに、 にご提出ください。



# スペシャル ホームワーク



なまえ  
名前

しつもん  
質問1 あなたの たからもの おし  
を教えてください。



しつもん  
質問2 わたし 私たちは、だれでもみんな あか  
赤ちゃんのころから

ふたつのたからもの をもっています。それは何と何でしょう？  
なに なに

と

しつもん  
質問2の答えは、

12月6日(水)2時間目の授業で発表するよ!



中学部 性に関する指導 学習指導案

1. 題材名 「性に関する学習 生命の安全教育② ～大切なところとからだを守るために～」

2. 本時の学習

(1) ねらい

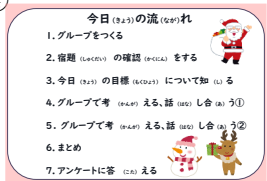
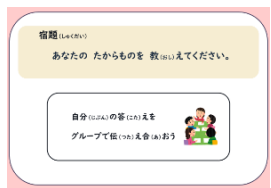
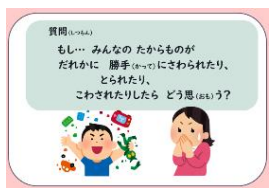
生命の安全を守るために大切な知識について、個人やグループで考えながら学びを深める。

(2) 準備

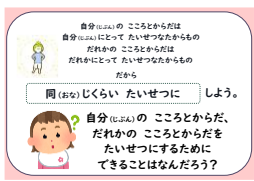
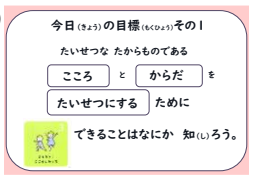
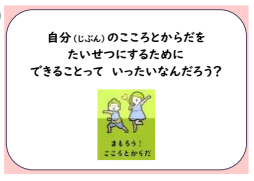
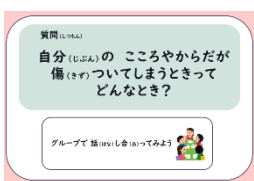
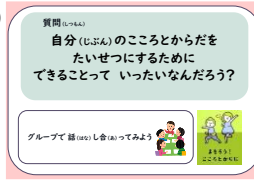
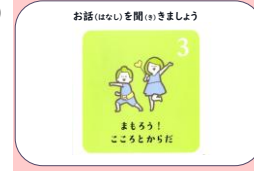
「生命（いのち）の安全教育②～大切なところとからだを守るために～」スライド、テレビ、動画教材、生徒用授業後アンケート用紙、教師用授業後アンケート用紙、事前課題（予備）、タブレット型端末（教師用）、ホワイトボード、マーカー、タイマー、相談カード（封筒に入れておく）

(3) 展開

| 活動     | スライド | 主な学習活動・内容（○）                                                                                                                                      | 支援（●）、留意点（◎）                                                                                                                                                     | 時間      |
|--------|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| 挨拶     | ①    | ○号令をかける。                                                                                                                                          | ●《T 1》生徒が集中できていない場合には、全体へ声かけをして注目を促す。                                                                                                                            | 導入（15分） |
| 復習     | ②    | ○今までの性に関する学習を振り返る。                                                                                                                                | ●《T 2～T 5》生徒が集中できていない場合は、T 1に注目するように促す。                                                                                                                          |         |
| グループ分け | ③    | ○3つのグループをつくる。<br>○グループでの話し合い活動における約束事について確認する。<br><div>話し合いの約束事<br/>・ていねいな言葉遣いを心がけること。<br/>・お互いのことは「〇〇さん」と呼ぶこと。<br/>・自分とは違った意見であっても否定しないこと。</div> | ◎《T 1》グループは、生徒同士の人間関係を考慮し、スムーズな話し合いをすることができそうな組合せにしておく。<br>●《T 2～T 5》各グループにつき、生徒の様子を観察したり、声かけをしたりしつつ、話し合いに参加する。<br>●◎《T 2～T 5》発言が難しい生徒に対しては丁寧に対応し、教師が仲介役や代弁者となる。 |         |

|       |                                                                                              |                                                    |                                                                                                                                                                                                                       |         |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| 活動理解  | <p>④</p>    | ○今日の流れを確認する。                                       | ●《T 1》今日の流れはいつでも確認することができるように、予め板書しておく。                                                                                                                                                                               |         |
| 宿題の確認 | <p>⑤</p>    | ○1つ目の宿題の回答について、グループ内で共有する。                         | <p>●◎《T 1》宿題が手元にあるか確認する。もし忘れた生徒がいた場合には、予備のプリントを手渡し、その場で記入するように促す。</p> <p>●《T 2～T 5》話合いに参加しつつ、生徒同士をつないだり、意見を引き出したりするような声かけをする。</p> <p>●◎《T 2～T 5》発語や言葉での表現が難しい生徒に対しては個別に対応を行い、聞き取りや身振り、ジェスチャー、絵カード等を使って本人の思いを代弁する。</p> | 導入（15分） |
|       | <p>⑥</p>  | ○たからものとはどんなものなのか、について考える。                          | ●《T 1》生徒の様子をうかがいつつ、必要に応じて質問を投げかけたり、補足説明したりしながら話を進める。                                                                                                                                                                  |         |
|       | <p>⑦</p>  | ○たからものとはどんなものなのか、について確認する。                         | ●《T 2～T 5》生徒が集中できていない場合は、T 1に注目するように促す。                                                                                                                                                                               |         |
|       | <p>⑧</p>  | ○もし、たからものが誰かに勝手に触られたり、とられたり、壊されたりしたらどう思うか、について考える。 |                                                                                                                                                                                                                       |         |

|       |   |  |                                                                              |                                                                                                                                                 |         |
|-------|---|--|------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| 宿題の確認 | ⑨ |  | ○もし、たからものが誰かに勝手に触られたり、とられたり、壊されたりしたら、怒ったり、悲しくなったり、泣いたり…と、“いやな気持ちになる”ことを確認する。 |                                                                                                                                                 | 導入（15分） |
|       | ⑩ |  | ○自分のたからものを大切にすることと同様に、相手のたからものも大切にしないといけないことを確認する。                           |                                                                                                                                                 |         |
|       | ⑪ |  | ○2つ目の宿題の回答内容について、グループで話し合う。                                                  | <p>●《T 2～T 5》話合いに参加しつつ、生徒同士をつないだり、意見を引き出したりするような声かけをする。</p> <p>●◎《T 2～T 5》発語や言葉での表現が難しい生徒に対しては個別に対応を行い、身振りやジェスチャー、絵カード等を使い、本人の思いを聞き取って代弁する。</p> |         |
|       | ⑫ |  | ○当てはまる言葉は「ころ」と「からだ」であることを確認する。                                               | <p>◎《T 1》わたしたちはみんなころとからだを守るための「権利」をもっていることについても触れる。</p> <p>◎《T 1》答えの発表の際は、この答えはあくまで一例であり、生徒それぞれが考えてきた答えも正解の一つであることを補足説明しておく。</p>                |         |
|       | ⑬ |  | ○自分のころとからだを大切にすることと同様に、誰かのころとからだも大切にしないといけないことを確認する。                         | ●《T 1》生徒の様子をうかがいつつ、必要に応じて質問を投げかけたり、補足説明したりしながら話を進める。                                                                                            |         |

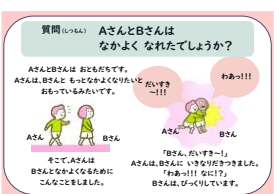
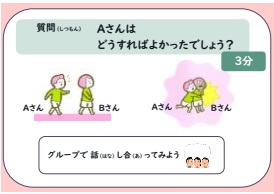
|                                 |   |                                                                                     |                                                                       |                                                                                                   |
|---------------------------------|---|-------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目<br>標<br>1<br>に<br>つ<br>い<br>て | ⑭ |    | ○自分のところとからだ、だれかのところとからだを大切に<br>するためにできることはいったい<br>何なのか、について疑問をも<br>つ。 | ●《T 2～T 5》生徒が<br>集中できていない場合<br>は、T 1 に注目するよう<br>に促す。                                              |
|                                 | ⑮ |    | ○今日の目標その 1 について、<br>空欄に当てはまる言葉を考えな<br>がら確認する。                         |                                                                                                   |
|                                 | ⑯ |    | ○今から考えていくことについ<br>て再度確認する。                                            |                                                                                                   |
|                                 | ⑰ |   | ○自分のところやからだが傷つ<br>いてしまうときとはどんなとき<br>なのか、グループで話し合う。                    | ●◎《T 1》ヒントカー<br>ドを準備しておき、なか<br>なか自分の意見が出ない<br>グループには配布を行<br>う。                                    |
|                                 | ⑱ |  | ○自分のところやからだが傷つ<br>いてしまうときはどんなとき<br>か、について確認する。                        | ◎《T 1》「性暴力」や<br>「性被害」という言葉に<br>ついて説明しておく。<br>●《T 2～T 5》生徒が<br>集中できていない場合<br>は、T 1 に注目するよう<br>に促す。 |
|                                 | ⑲ |  | ○「自分のところとからだを大<br>切にするためにできることは何<br>なのか」について、改めて考え<br>る。              | ●《T 1》生徒の様子を<br>うかがいつつ、必要に応<br>じて質問を投げかけた<br>り、補足説明したりしな<br>がら話を進める。                              |
|                                 | ⑳ |  | ○ソーシャルストーリー「まも<br>ろう！ところとからだ」を聞<br>く。                                 | ●《T 2～T 5》生徒が<br>集中できていない場合<br>は、T 1 に注目するよう<br>に促す。                                              |
|                                 | ㉑ |  |                                                                       |                                                                                                   |

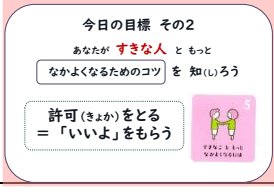
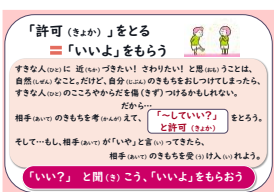
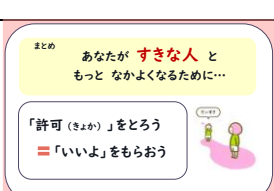
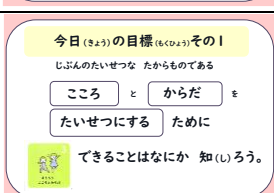
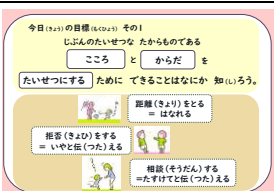
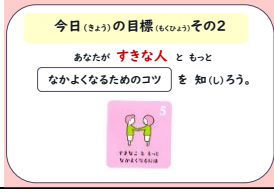
展開 (30 分)

|           |                         |                                                            |                                                                                                                                                                                                                                |          |
|-----------|-------------------------|------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| 目標 1 について | <p>②②</p>               | <p>○自分のからだを触られそうになったときどうしたらよいか、についてグループで話し合う。<br/>(3分)</p> | <p>●《T 2～T 5》タイマーをセットする。(3分)<br/>●《T 2～T 5》話し合いに参加しつつ、生徒同士をつないだり、意見を引き出したりするような声かけをする。<br/>●◎《T 2～T 5》発語や言葉での表現が難しい生徒に対しては個別に対応を行い、身振りやジェスチャー、絵カード等を使い、本人の思いを聞き取って代弁する。<br/>●◎《T 1》ヒントカードを準備しておき、なかなか自分の意見が出ないグループには配布を行う。</p> | 展開 (30分) |
|           | <p>②③</p> <p>ヒントカード</p> |                                                            |                                                                                                                                                                                                                                |          |
|           | <p>②④</p>               | <p>○グループごとに発表する。</p>                                       | <p>●《T 1》生徒の発言を板書する。<br/>●◎《T 2～T 5》発語や言葉での表現が難しい生徒に対しては個別に対応を行い、身振りやジェスチャー、絵カード等を使い、本人の思いを聞き取って代弁する。</p>                                                                                                                      |          |
|           | <p>②⑤</p>               | <p>○T 1 の話を聞く。</p>                                         | <p>●《T 1》生徒の様子を伺いつつ、必要に応じて質問を投げかけたり、補足説明したりしながら話を進める。</p>                                                                                                                                                                      |          |
|           | <p>②⑥</p>               | <p>○自分のこことからだを大切にするためにできる3つのことについて確認する。</p>                | <p>●《T 2～T 5》生徒が集中できていない場合は、T 1 に注目するように促す。</p>                                                                                                                                                                                |          |

|           |    |  |                                                   |                                                       |
|-----------|----|--|---------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|
| 目標 1 について | 27 |  | ○ “距離をとること＝はなれること” について、空欄に当てはまる言葉を考えながら確認する。     |                                                       |
|           | 28 |  | ○ “拒否をすること＝「いや」と伝えること” について、空欄に当てはまる言葉を考えながら確認する。 |                                                       |
|           | 29 |  | ○ “相談すること＝「助けて」ということ” について、空欄に当てはまる言葉を考えながら確認する。  |                                                       |
|           | 30 |  | ○以上の3つの大切なことについてもう一度確認する。                         |                                                       |
|           | 31 |  | ○質問について、各自で考える。                                   | ◎《T 1》自分や相手の性別は関係ないことを補足する。                           |
|           | 32 |  | ○今日の目標その1について、空欄に当てはまる言葉を考えながら確認する。               | ●《T 1》生徒の様子をうかがいつつ、必要に応じて質問を投げかけたり、補足説明したりしながら話を進める。  |
| 目標 2 について | 33 |  | ○ソーシャルストーリー「すきなこと もっとなかなくなるには」を聞く。                | ●《T 2～T 5》生徒が集中できていない場合は、T 1に注目するように促す。               |
|           | 34 |  |                                                   |                                                       |
|           | 35 |  | ○AさんとBさんそれぞれはどんな気持ちだったのか、グループで考える。                | ●《T 2～T 5》タイマーをセットする。(3分)<br>●《T 2～T 5》話合いに参加しつつ、生徒同士 |

展開 (30分)

|         |                                                                                           |                                       |                                                                                                                                                                    |         |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| 目標2について |                                                                                           |                                       | をつないだり、意見を引き出したりするような声かけをする。<br>●◎《T 2～T 5》発語や言葉での表現が難しい生徒に対しては個別に対応を行い、身振りやジェスチャー、絵カード等を使い、本人の思いを聞き取って代弁する。                                                       | 展開（30分） |
|         | ③6<br>   | ○グループごとに発表する。                         | ●《T 1》生徒の発言を板書する。<br>●◎《T 2～T 5》発語や言葉での表現が難しい生徒に対しては個別に対応を行い、身振りやジェスチャー、絵カード等を使い、本人の思いを聞き取って代弁する。                                                                  |         |
|         | ③7<br> | ○からだの距離は近づいたが、こころの距離は遠くなったことを理解する。    | ◎《T 1》からだの距離が近づいたからといって、こころの距離も近づいたわけではないことに触れる。                                                                                                                   |         |
|         | ③8<br> | ○Aさんはどのような行動をとればよかったのか、グループで話し合う。（3分） | ●《T 2～T 5》タイマーをセットする。（3分）<br>●《T 2～T 5》話し合いに参加しつつ、生徒同士をつないだり、意見を引き出したりするような声かけをする。<br>●◎《T 2～T 5》発語や言葉での表現が難しい生徒に対しては個別に対応を行い、身振りやジェスチャー、絵カード等を使い、本人の思いを聞き取って代弁する。 |         |

|           |    |                                                                                     |                                                                    |                                                                                                                   |          |
|-----------|----|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| 目標 2 について | 39 |    | ○グループごとに発表する。                                                      | <p>●《T 1》生徒の発言をスライドに記録する。</p> <p>●◎《T 2～T 5》発語や言葉での表現が難しい生徒に対しては個別に対応を行い、身振りやジェスチャー、絵カード等を使い、本人の思いを聞き取って代弁する。</p> | 展開 (30分) |
|           | 40 |    | ○お話の続きを聞く。                                                         | ●《T 1》生徒の様子をうかがいつつ、必要に応じて質問を投げかけたり、補足説明したりしながら話を進める。                                                              |          |
|           | 41 |   | ○“許可をとること＝「いいよ」をもらうこと”と、“相手の気持ちを受け入れること”が大切であると確認する。               | ●《T 2～T 5》生徒が集中できていない場合は、T 1に注目するように促す。                                                                           |          |
|           | 42 |  | ○“許可をとること＝「いいよ」をもらうこと”と、“相手の気持ちを受け入れること”について、空欄に当てはまる言葉を考えながら確認する。 |                                                                                                                   |          |
|           | 43 |  | ○許可についてもう一度確認する。                                                   |                                                                                                                   |          |
| 本時のまとめ    | 44 |  | ○今日の目標その1について再確認する。                                                |                                                                                                                   | 終末 (5分)  |
|           | 45 |  | ○こころとからだを大切にするためにできる3つのことについて再確認する。                                |                                                                                                                   |          |
|           | 46 |  | ○今日の目標その2について再確認する。                                                |                                                                                                                   |          |

|        |        |                                             |                                                        |            |
|--------|--------|---------------------------------------------|--------------------------------------------------------|------------|
| 本時のまとめ | ④⑦<br> | ○好きな人ともっとなかよくなるためのコツについて再確認する。              |                                                        | 終末<br>(5分) |
| 補足説明   | ④⑧<br> | ○例外ケースもあることを確認する。                           | ◎《T 1》大切なことは“困ったときは大人に相談すること”であると説明する。                 |            |
| 挨拶     | ④⑨<br> | ○アンケートを記入する。<br>○T 1 から封筒を受け取る。<br>○号令をかける。 | ●◎《T 2～T 6》書字が難しい生徒に対しては、教師が質問内容を丁寧に問いかけながら本人の思いを代筆する。 |            |

#### (4) 板書計画

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |  |                                                                                                                                                                                                                     |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>性に関する学習 生命の安全教育② ～大切な <b>こころ</b> と <b>からだ</b> を守るために～</p> <p>今日の目標 その1<br/>自分のたからものである<b>こころ</b>と<b>からだ</b>を大切にするためにできることはなにか知ろう。</p> <p> → <b>距離をとる</b><br/>＝はなれる</p> <p><b>拒否をする</b><br/>＝「いや」と伝える</p> <p><b>相談をする</b><br/>＝「助けて」と伝える</p> <p>今日の目標 その2<br/>好きな人ともっとなかよくなるためのコツを知ろう。</p> <p> → <b>許可をとる</b><br/>＝「いいよ」をもらう</p> <p><b>相手の気持ちを受け入れる</b></p> |  | <p>今日の流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. グループをつくる</li> <li>2. 宿題の確認をする</li> <li>3. 今日の目標について知る</li> <li>4. グループで考える、話し合う①</li> <li>5. グループで考える、話し合う②</li> <li>6. まとめ</li> <li>7. アンケートに答える</li> </ol> |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

#### (5) 主眼

| 知識及び技能                       | 思考力、判断力、表現力                     | 学びに向かう力、人間性                              |
|------------------------------|---------------------------------|------------------------------------------|
| アンケートに記載してある問題に正しく答えることができる。 | 自分の考えを表現したり、友達の意見を聞いたりすることができる。 | 興味・関心をもって教師の話を聞くなど、意欲的な態度で活動に参加することができる。 |

#### (6) 評価

|           |                                  |
|-----------|----------------------------------|
| 生徒の活動について | 主眼は達成されたか。                       |
| 本題材について   | 主眼の設定は適切であったか。<br>題材の設定は適切であったか。 |
| 教師の支援について | 支援の内容は適切であったか。<br>支援の量は適切であったか。  |

せい かん がくしゅう いのち あんぜんきょういく たいせつ まも じゅぎょうご  
性に関する学習 生命の安全教育 ～大切なこととからだを守るために～ 授業後アンケート

なまえ  
名前 \_\_\_\_\_

1. 次の文章を読んで、 の中にあてはまる言葉を、 の中から選びましょう。  
※数字を書いてもかまいません。

自分のこととからだを大切にするためにできることは、

ことと、 ことと、  
それから  ことです。

- ① 距離をとる (= はなれる)      ② いつもお家の人や先生と一緒に過ごす  
③ 相談する (= 「助けて」と伝える)  
④ 友達となかよくしない      ⑤ 拒否をする (= 「いや」と伝える)

2. 次の文章を読んで、 の中にあてはまる言葉を  の中から選びましょう。  
※数字を書いてもかまいません。

好きな人と もっとなかよくなるためには、

ことと、  
それから、 ことが大切です。

- ① 自分の気もちだけを 考えて、好きな人にたくさん話しかけたり、くっついたりする。  
② 自分の気もちだけでなく、相手の気もちも 考えて、「～していい？」と許可をとる。  
③ 相手に「いや」と断られても、自分の気もちだけを 考えて、話しかけたり、くっついたりする。  
④ 相手に「いや」と断られたら、「わかった」と言って、相手の気もちを受け入れる。

3. 今日の授業の内容はわかりましたか。あてはまるものの ☐ の中に○を書きましょう。

よくわかった

☐

わかった

☐

あまりわからなかった まったくわからなかった

☐
☐

4. 今日の授業で、わかったことをひとつ書きましょう。たくさん書いてもかまいません。

5. 今日の授業の感想を自由に書きましょう。

しめ切り 12月8日(金)

提出先

原先生まで